

令和6年6月教育委員会議定例会 議事日程

日 時 令和6年6月28日(木)

午前9時30分より

場 所 町民センター 2Aクラブ室

- 1 開会宣言
- 2 署名委員の指名
- 3 教育長事務報告
- 4 付議事項
 - (1) 議案第8号 二宮町スポーツ推進委員の解嘱について
- 5 報告・協議事項
 - (1) ラディアン周辺行政機能等基本設計(概要書)および令和6年度二宮町財政見直しについて
 - (2) 二宮町教育委員会点検及び評価報告書について
 - (3) ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて
 - (4) 二宮育英会奨学生の選考結果等について(非公開)

* 次回教育委員会議予定
- 6 閉会宣言

令和6年6月定例教育委員会議 教育長事務報告

(R6.5.30~R6.6.27)

月	日	曜日	内 容
5	30	木	山西小学校運動会
			定例教育委員会議
			総合教育会議
5	31	金	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会 (茨城県古河市)
6	5	水	政策会議
6	6	木	選挙管理委員会・出前授業(一色小学校)
6	7~19	金~水	令和6年第2回二宮町議会定例会
6	7	金	本会議(議会承認工事、補正予算)
6	10	月	教育福祉常任委員会(陳情)
6	12	水	小中学校校長会
			幼・保・小・中一斉避難及び引取り訓練
6	13	木	本会議(一般質問)
6	14	金	
6	18	火	政策会議
6	19	水	本会議
			議会全員協議会(制服アンケートの調査結果)
			議友会総会
6	20	木	山西プール開設前現地確認
			施設一体型小中一貫教育校設置研究会
6	21	金	二宮育英会理事会
			中地区教職員組合交渉会

月	日	曜日	内 容
6	22	土	いきもの絵本の世界－館野鴻×かわしま はるこ原画展 - トークイベント「絵本の制作秘話をきいてみよう！」
6	25	火	町災害対策本部図上訓練
6	27	木	市町村教育委員会研究協議会

6月政策会議結果報告

令和6年6月5日（水）開催分

【町長あいさつ】

議会での質問について、議員に対しては、もちろんのこと、聞いている住民に安心感を持って理解いただける答弁を心掛けること。

【主な付議案件】

- 1 令和7年度 国・県の施策・予算に対する政党要望について（政策部）
 - ・要望事項一覧（案）に基づいて協議を行い、要望事項を決定した。
 - 今後、資料を調製して要望書を完成させる。なお、教育委員会関係の要望項目は次の通り。
 - 不登校対応や特別支援学級に係る加配定数の充実について
 - ア：教職員定数の弾力的な運用（スクールサポートスタッフ含む）
 - イ：スクールカウンセラー等に係る国の補助率引き上げ
 - ウ：司書教諭標準定数の義務標準法への規定
 - エ：特別支援教育補助員の配置に係る財政的補助の拡充
 - 学校教育の振興（教員定数及び加配定数配置の充実等）
 - GIGAスクール構想をはじめとしたICT環境整備への財政支援の充実
 - 医療的ケア看護職員の配置に伴う財政措置
 - 小中学校給食費の無償化について

【情報交換】

- 特になし。

令和6年6月18日（火）開催分

【町長あいさつ】

これから新庁舎、ラディアン、（仮称）福祉会館の整備を進めていくことについて、パブリックコメントを実施していく。関係各課、連携を密にして対応をしていくこと。

【報告事項】

- 1 令和5年度歳入歳出決算見込みについて（出納課）
 - ・5月31日の出納閉鎖に伴い、令和5年度の各会計の決算見込みの概要について報告があった。

令和6年 第2回二宮町議会定例会報告（教育委員会関係審議状況）

1 陳情

- (1) 子どもたちにゆたかな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情

⇒審査結果 教育福祉常任委員会 全員賛成で採択
本会議 全員賛成で採択

2 議案

- (1) 山西小学校北棟校舎外壁補修等大規模改修工事請負契約について

議会の議事に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。なお、工事請負契約の場合は、入札予定価格が5,000万円以上のものが対象となっています。

契約金額 71,830,000円

契約の相手方 住所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 4-14-6

氏名 株式会社 草建

代表取締役 松浦 秀和

工事概要 外壁補修、外壁浮きや爆裂等補修、屋上防水シートの張替

⇒審査結果 本会議 全員賛成で可決

- (2) 令和6年度二宮町一般会計補正予算（第1号） 教育委員会関係

【歳入】

国庫支出金 国庫補助金 教育費国庫補助金 教育総務費補助金（教育支援体制整備事業費補助金）

【歳出】

教育費 教育総務費 事務局費 一般経費（会計年度任用職員報酬、会計年度任用職員費用弁償）

教育振興費 ITC 教育推進事業（校内ネットワーク保守業務委託料）

小学校費 学校管理費 二宮小学校教育施設整備事業（アクセスポイント増設委託料）

一色小学校教育施設整備事業（アクセ

スポット増設委託料)
山西小学校教育施設整備事業（アクセスポイント増設委託料）
中学校費 学校管理費 二宮中学校教育施設整備事業（アクセスポイント増設委託料）
二宮西中学校教育施設整備事業（アクセスポイント増設委託料）

⇒審査結果 本会議 賛成多数で可決（12：1）

3 一般質問

(1) 一石議員

件名：子どもの権利を学び推進する協働のまちづくりを求める

要旨5：子どもの権利に注力し、子どもたちが安心して学べる学校について

答弁の概要（教育長）

（要旨5）

○5校全体で取り組んでいる、子ども同士の学び合いや話し合いを中心とした授業である「受容的かつ共感的な学級集団づくり」は、子どもの権利条約の4つの原則の1つである「児童の意見の尊重」も踏まえた取組です。

○今後も引き続き、子どもの権利についての理解をより一層深め、子どもたちの人権に十分配慮し、一人一人を大切にされた教育を大切にしたい。「にのみや学園」の、教育目標として定めた「認め合い、高め合う、二宮の子」の実現に向けて、子どもたちの声に耳を傾け子どもたちが主体となる、学校づくりを進めてまいります。

(2) 前田議員

件名：二宮町の学校教育、子どもたちの権利は、守られているのか

要旨1：教職員に不適切な指導と考えられる行為、児童生徒に問題行動が起こった際に学校を統括する立場にある教育委員会および学校側の体制、指導について

要旨 2 : 通学路の安心・安全確保の状況について

答弁の概要（教育長）

（要旨 1）

- 指導については、問題が起きてからだけではなく、未然防止と早期発見・早期対応の取組が重要とされており、日頃からの情報共有を大事にして組織的に対応できる体制を整備しています。
- 児童生徒によっては、困り感を抱えている場合もあるため、各学校では児童生徒へアンケート調査を実施し、その内容を基に各学校に所属しているスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談コーディネーターや教員が積極的に相談を行う体制を整えています。

答弁の概要（教育部長）

（要旨 2）

- 継続的に通学路の安全を確保するために通学路の合同点検を行い対策の改善や充実、不審者情報の共有、下校の重点見守りを行っております。
- 合同点検の結果から明らかになった対策等が必要となる箇所について、歩道整備や防護柵設置のようなハード面での対策や、交通規制や交通教育のようなソフト面での対策を必要に応じて検討し実施しております。

（3）古谷議員

件名：図書館の更なる充実を目指して、ほか 3 件

要旨 1 : 図書館の更なる充実を目指して

要旨 2 : 二宮駅に返却ポストの設置を

要旨 3 : 町内の町の施設で、予約した本の受け取り、返却を可能に

要旨 4 : 学校図書館に、大人の本を置き、放課後や休日に限定して、町民に開放を

答弁の概要（教育長）

（要旨 1）

- 図書館を取り巻く環境のみならず、人々の生活形態が多様化していく中で、子育て世代にやさしい静岡県磐田市の「に

こっと」、特に若者の活動や交流拠点となっている東京都武蔵野市の「武蔵野プレイス」、ホールが併設され居場所づくりをメインとした大和市の「シリウス」など他の図書館の先進事例なども参考にしながら、二宮町に見合った図書館サービスについて研究し、取り入れていくとともに、ラディアンの大規模改修に合わせて行うリニューアルにおいて、町民の皆さんが憩い、集うような図書館、生涯学習センターにしていきたいと考えております。

(要旨 2)

- 図書館の運営について、利用者から様々なご要望やご意見をお寄せいただいているところですが、実態として、駅への返却ポストの設置に関するご要望はほとんどなく、駅への返却ポストの設置の必要性はないと考えています。
- 東西約 3.3 km×南北約 3.8 kmの比較的狭い町域にあって、二宮町図書館は二宮駅から徒歩 10 分弱に位置しております。
- 町の他の施設や学校を図書利用の拠点に整備していく方向は考えておりません。なお、団体登録による貸出という方法もありますので、要望がありましたらPRし、つなげていきたいと思っています。

(4) 渡辺議員

件名：にのみや学園の今の状況は

要旨 1：にのみや学園の教育目標の達成・進捗の状況はどうか

- ① 主体的・対話的で深い学びを実現するための取り組みは進んだのか
- ② 地域との関係強化、教育課程の充実
- ③ 9年間を見通したよりよい授業づくりについて
- ④ 英語教育の引き続きの充実

要旨 2：制服検討の状況についてはいかがか

答弁の概要（教育長）

(要旨 1)

- 「認め合い、高め合う、二宮の子」という小中一貫教育の教育目標のもと、主体的・対話的で深い学びを実現するた

めに5校が同じテーマで取り組んでいる学校研究等を通じて、学園全体で共通性と一貫性を持った取り組みは、着実に進んでいると捉えています。

(要旨2)

- 現在の制服については、生徒や保護者の方々に昔から親しまれておりますが、体温調整や洗濯などの機能面や快適性について課題があり、また多様化する価値観や特性への配慮についても対応しにくいものとなっております。

答弁の概要（教育部長）

- アンケートの実施結果や、中学校の生徒の制服事情や制服を廃止している学校の様子、他市町の制服の取組などを元に議論を重ね、今後の中学校の新しい制服の方向性の案として、上はブレザーで統一、下はパンツ（ズボン）、スカート、キュロットから選択することとし、令和6年5月には、周知とともに意向確認のためのアンケートを同じ対象者に実施いたしました。
- このアンケート結果については、現在集計中であり、今後公表をする予定です。

教育総務課・教育指導課事業報告

事業報告

(令和6年5月31日～令和6年6月27日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
6/3～6/5	月～水	二宮中学校修学旅行(京都・奈良・大阪)	-	-
6/7～6/9	金～日	二宮西中学校修学旅行(京都・滋賀)	-	-
6月12日	水	小・中学校長会 へのみや学園連絡会	町民センター	14
6月12日	水	二宮町幼・保・小・中一斉避難訓練及び引取り訓練	各園・各校	-
6月13日	木	小中一貫教育カリキュラムワーキンググループミーティング	各校・オンライン	-
6月20日	木	二宮町施設一体型小中一貫教育校設置研究会	町民センター	30

事業予定

(令和6年6月28日～令和6年7月25日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
7月1日	月	小・中学校長会 へのみや学園連絡会	町民センター	14
7月2日	火	いじめ問題対策連絡協議会	町民センター	15
7月3日	水	学校運営協議会会長等情報交換会	町民センター	16
7月4日	木	小・中学校教頭会	町民センター	14
7月24日	水	支援教育補助員研修会	町民センター	31

学校給食センター

事業報告

(令和6年5月31日～令和6年6月27日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
6月5日	水	令和6年度学校給食費（令和5年度分決算）会計監査	給食センター	7
6月26日	水	納入物資業務監査	給食センター	4

事業予定

(令和6年6月28日～令和6年7月25日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
7月4日	木	第1回学校給食センター運営委員会	町民センター	16
7月17日	水	小・中学校 1学期給食終了	-	-

生涯学習課事業報告

(令和6年5月30日～6月27日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	定員	出席者/人数	担当班
5/30	木	町民大学講座『押し花アート体験』	ミーティングルーム2	20人	23人	学習
6/3	月	放課後子ども教室（一色小①）	一色小学校	79人	63人	学習
6/4	火	町民大学講座『きれいな写真を撮ろう』 全2回 5/14	ミーティングルーム2	20人	9人	学習
6/5	水	ブックスタート	保健センター	-	11組	図書館
6/7	金	第2回スポーツ推進委員連絡協議会	ミーティングルーム2	21人	18人	スポーツ
6/11	火	第2回洋上体験研修実行委員会	秦野市保健福祉センター	9人	6人	学習
6/12	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	-	9組	図書館
6/14	金	教科書展示 ～6/29	図書館	-	-	図書館
6/17	月	放課後子ども教室（一色小②）	一色小学校	79人	67人	学習
6/15	土	おはなし会	図書館	-	8組	図書館
6/19	水	町民大学講座 『ゆたかな二宮の海と魚たち』	ミーティングルーム2	30人	32人	学習
6/19	水	「いのちをみつめて～館野鴻 かわしまはる こ いきもの絵本の世界～」 絵本原画展 ～6/30 (共催：図書館をたのしむ会・二宮、にのみ やおはなし会)	展示ギャラリー	-	-	図書館
6/21	金	わらべうたであそぼう！	和室	-	7組	図書館
6/21	金	放課後子ども教室（山西小①1,3,5年生）	山西小学校	63人	62人	学習
6/22	土	「いのちをみつめて～館野鴻 かわしまはる こ いきもの絵本の世界～」 子ども向けワークショップ	ミーティングルーム1	20人	29人	図書館
6/22	土	「いのちをみつめて～館野鴻 かわしまはる こ いきもの絵本の世界～」 トークイベント	ミーティングルーム2	60人	65人	図書館
6/23	日	三団体（スポーツ推進委員・子ども会育成会 連絡協議会・青少年指導員） 交流事業	町立体育館	-	56人	スポーツ 学習
6/24	月	放課後子ども教室（二宮小①2,4,6年生）	二宮小学校	67人	67人	学習

生涯学習課事業予定

(令和6年6月28日～7月25日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	開始時間	担当班
6/28	金	山西プール開設式 ※7月1日より営業開始(9月16日まで)	山西プール	8:30	スポーツ
6/28	金	放課後子ども教室 (山西小②2, 4, 6年生)	山西小学校	14:30	学習
7/1	月	放課後子ども教室 (二宮小②1, 3, 5年生)	二宮小学校	14:30	学習
7/6	土	土曜日のちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
7/8	月	放課後子ども教室 (一色小③)	一色小学校	14:30	学習
7/10	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
7/11	木	社会教育委員会議	ミーティングルーム1	13:30	学習
7/12	金	「小・中学生にすすめたい本」発行 (小中学校児童生徒に配布)	—	—	図書館
7/13	土	洋上体験研修事前研修会	はだのこども館	9:30	学習
7/14	日	相続・遺言講座 (協力：神奈川県行政書士会平塚支部)	ミーティングルーム2	14:00	図書館
7/16	火	青少年問題協議会	町民センター	14:00	学習
7/18	木	青少年指導員連絡協議会	ミーティングルーム2	19:30	学習
7/19	金	わらべうたであそぼう！	和室	10:00	図書館
7/20	土	おはなし会	図書館	10:30	図書館
7/21	日	町民大学講座『本気のラジオ体操、学んでみませんか』	町立体育館	10:00	学習
7/23	火	インターンシップ受入 (星槎学園湘南校高等部 4人 7/25(木)まで)	図書館	—	図書館

議案第8号

二宮町スポーツ推進委員の解嘱について

令和6年6月28日提出

二宮町教育委員会
教育長 和田 智司

〔提案理由〕

二宮町スポーツ推進委員から辞任の申し出があったため、令和6年6月30日付で解嘱することについて提案する。

担当課名 生涯学習課

各種委員名簿

各種委員名 スポーツ推進委員

	氏名	性別	発令年月日	任期	備考（新任の場合記載）
1	真鍋 輝好	男性	令和6年4月1日	令和8年3月31日	令和6年6月30日退職

ラディアン周辺行政機能等集約基本設計業務

(概要版)

令和6年6月

 安井建築設計事務所

■ラディアン周辺における施設概要

【設計の背景】

「新庁舎・駅周辺公共施設再編計画」(令和4年2月策定)をベースに、生涯学習センターラディアン周辺へ、行政機能を集約するとともに、町民にとって居心地の良い場所となる拠点づくりを目的に次の3つの基本設計を実施しました。それぞれの施設整備だけでなく、各施設の機能やあり方を検討し、連携性を高めるとともに一体的な機能向上を図ります。

【各施設の設計概要】

【1】役場庁舎建設の基本設計

災害対策拠点となる庁舎としての耐震性が不足しており、建設から46年が経過し老朽化が著しいため、二宮町役場庁舎の移転、建替えを実施します。

敷地の所在	二宮町二宮 1199-1
用途地域	第1種住居地域
防火地域	準防火地域
敷地面積	約10,000㎡
建ぺい率	60%
容積率	200%

北棟（本庁舎機能、災害対策本部機能）

施設用途	執務室、議場、会議室、防災倉庫ほか
施設の延べ面積	3,650㎡
主要構造	鉄筋コンクリート造、地上3階

南棟（こども家庭センター、教育委員会）

施設用途	執務室、会議室、多目的室、教育支援室ほか
施設の延べ面積	957㎡
主要構造	軽量鉄骨造、地上2階

【2】生涯学習センターリニューアル（改修）の基本設計

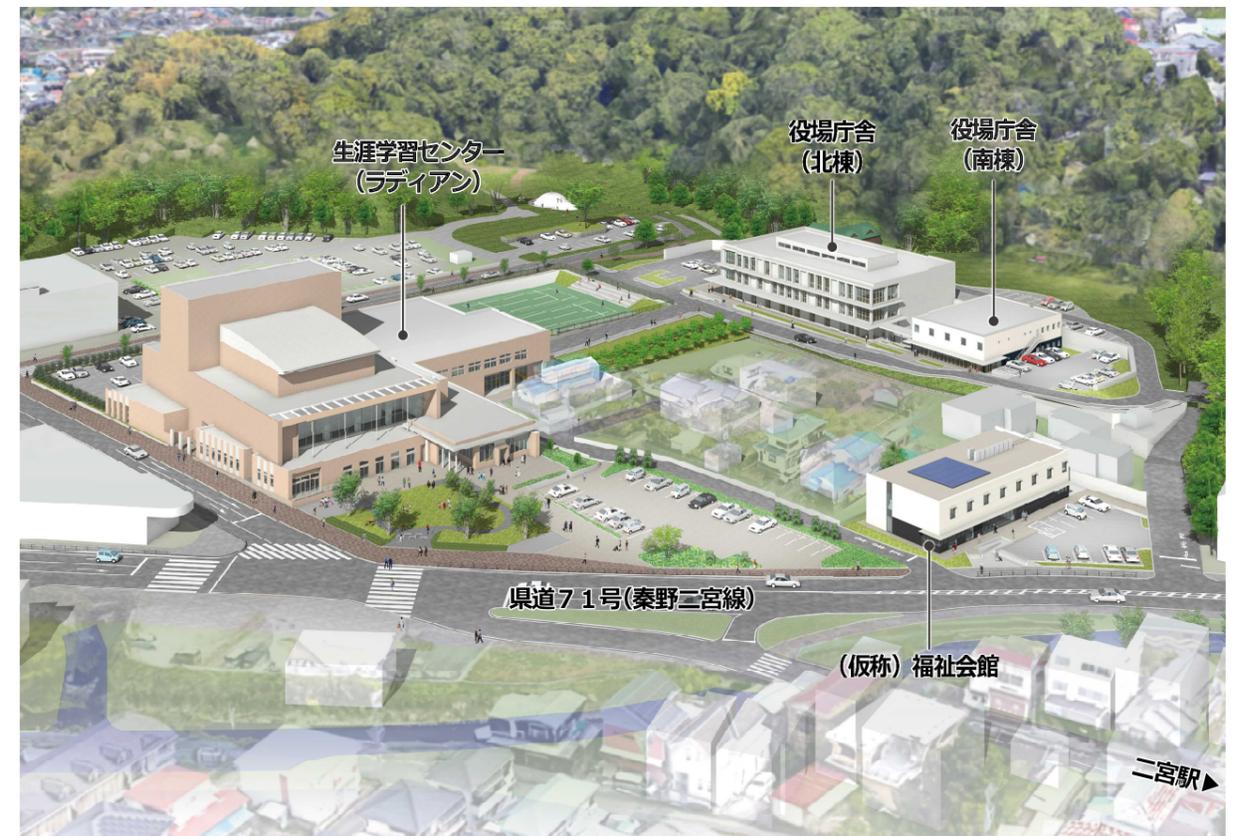
築24年が経過し、屋根や外壁の補修、空調機器の更新、天井の耐震化(特定天井対策)を計画する中、新庁舎建設とともに施設の連携性、滞在性を高め、交流が生まれる居心地の良い場所となるよう、リニューアル(改修)を行います。

施設の所在	二宮町二宮1240-10
用途地域	第1種住居地域
防火地域	準防火地域
敷地面積	9,545.11㎡
建ぺい率	60%
容積率	200%
施設用途	多目的ホール、会議室、展示ギャラリー、図書館
施設の延べ面積	5,284.57㎡(公民館棟3,395.43㎡、図書館棟1,889.14㎡)
しゅん工年	平成12(2000)年7月31日
主要構造	鉄骨・鉄筋コンクリート造、地上3階地下1階

【3】（仮称）福祉会館建設の基本設計

保健センターの一部機能移転や町民活動発展の拠点、社会福祉協議会と行政の福祉サービスをつなぐ連携の場とするため、旧ホテル跡地を活用した施設を建設します。

施設の所在	二宮町二宮 1208-1
用途地域	第1種住居地域
防火地域	準防火地域
敷地面積	約1,320㎡
建ぺい率	60%
容積率	200%
施設用途	会議室、調理室、相談室、ラウンジ
施設の延べ面積	915㎡
主要構造	軽量鉄骨造、地上2階



ラディアン周辺は、二宮駅から約700mの徒歩圏内で、町内の各方面からバスを利用して訪れることができます。主要地方道県道71号(秦野二宮線)に接しており、自転車や自動車によるアクセス性も高く、両側歩道付きの平坦な道路であることから、高齢者や子ども連れの歩行者の利便性や安全性も確保されています。また、県道が緊急輸送道路でもあることから災害時の応援や物資受け入れについても対応しやすい立地であり、公共施設が集約されることで災害時等においても連携性が高い場所になります。

■ラディアン周辺地区における交通および駐車場計画

ラディアン周辺地区の交通計画について

- ・敷地周辺の道路整備を行い、歩車分離された安全な外構計画とします。
- ・ラディアン周辺地区に施設が集約されるため、交通動線を整理します。
- ・調整池外周を周回できるようにすることで、円滑な交通形態とします。
- ・新庁舎への車両動線は北側からに限定し、(仮称)福祉会館側からの車両の出入りは、緊急時のみとします。
- ・生涯学習センターラディアンと新庁舎を結ぶ道路の整備を行い、歩行しやすい空間とします。また、新庁舎に歩行者を受け止める共用部を設けることで、ラディアンモールの拡張を目指し、周辺施設とつながる計画とします。

※ラディアン地区全体に施設集約されることで交通量の増加が懸念されましたが、計画時の交通シミュレーション調査により問題ないことが確認されています。

駐車場について

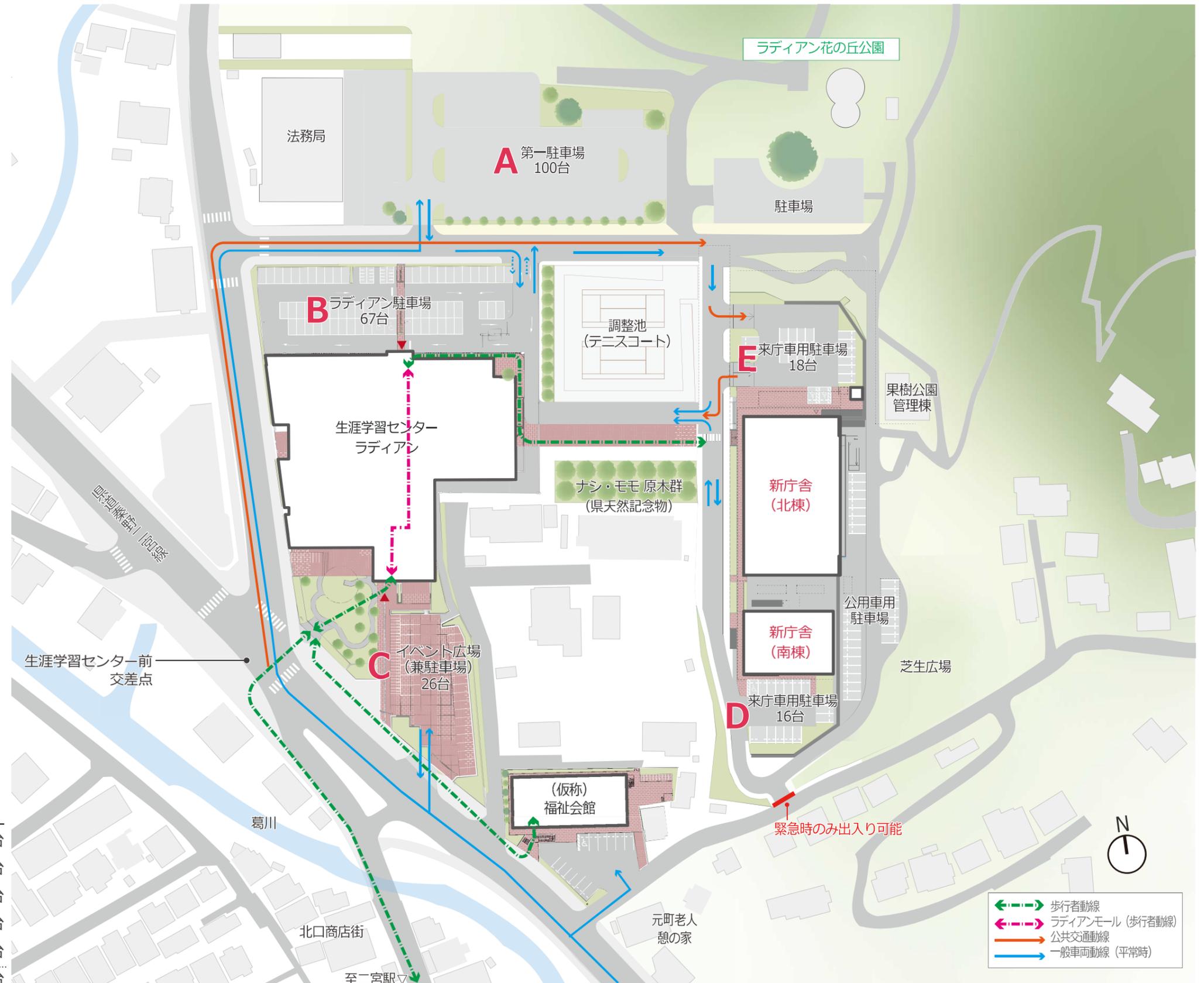
A, B, C, D, Eの駐車場は一体管理・運用とし、計画します。

キャッシュレス決済の導入や、駐車場の空き状況把握をスマートフォンにて閲覧可能にするなど、利用者の利便性向上を図ります。

利用料金については、原則利用時間に応じた課金制とし、利用目的に応じて減免制度等を検討します。

駐車場台数一覧

A: 第一駐車場	100台
B: ラディアン駐車場	67台
C: イベント広場(兼駐車場)	26台
D: 新庁舎(南棟)駐車場	16台
E: 新庁舎(北棟)駐車場	18台
合計227台	



役場庁舎基本設計（案）

■基本方針について

二宮町役場新庁舎建設基本構想(令和2年2月策定)に基づき、
基本理念と5つの基本的な考え方をもって、
新庁舎基本計画(令和4年2月策定)にて整理し、
今回の基本設計としてまとめました。

基本理念：

町民の安全と安心を守り、町民が利用しやすい「まちづくりの拠点」

基本的な考え方

①町民の安全・安心な暮らしを支える拠点となる庁舎

新庁舎は耐震性能、防火性能に加え、自立性や指令中枢機能を備えた防災、
災害時の拠点として、町民の安全、安心を守る役割を十分果たせる庁舎とします。

②町民が親しみ、利用しやすい開かれた庁舎

新庁舎は、町民サービスの向上を重視した機能を充実させるとともに、
年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰もが利用しやすい
ユニバーサルデザインを反映した計画とします。

③行政サービスの向上を目指した多機能な庁舎

分散しているこども家庭センターや教育委員会等の行政機能を集約し、
町民の利便性を向上させるとともに、円滑な対応や細かなサービス
を提供する庁舎とします。

④高度情報化社会へ対応した機能性の高い庁舎

高度情報化社会に対応できるよう、ネットワーク設備の充実化を図るとともに、
ペーパーレスを前提とし、業務の効率化とコスト削減を図る庁舎とします。

⑤環境に配慮した経済性に優れた庁舎

自然採光、自然通風など自然エネルギーの有効活用を図るとともに、
ZEB Readyを目指した省エネルギーな環境配慮型の庁舎とします。
一方でメンテナンス性や費用対効果に十分配慮した構造や設備とし、
ライフサイクルコストを重視した計画とします。

■外観デザイン

二宮のまちに根差す“質実剛健”な庁舎

——無駄を省きながら、自然環境と調和する開かれた庁舎をつくる——

構造が生きるアウトフレーム

- ・構造合理性を追求したシンプルなデザイン
- ・構造が外装となるローコストな計画
- ・構造のメリハリをつくり、開放感のある庁舎

環境性能を高めるルーバー柱

- ・西日を抑制するルーバー柱
- ・海からの風を内部に取り込むウインドキャッチ
- ・構造フレームがルーバーとなる経済設計

周辺と調和する外観

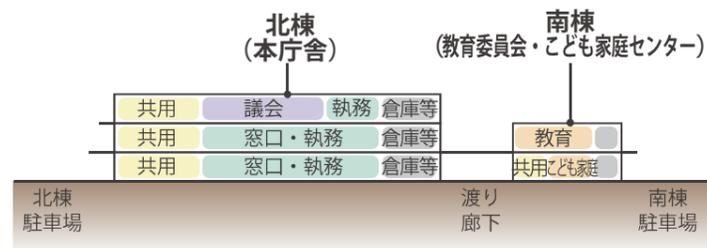
- ・構造の素材感をそのまま魅せる外観
- ・周辺の緑と調和するRC素材
- ・ボリュームを分節するグリッドデザイン



■新庁舎配置計画

◇庁舎配置計画の考え方

- ・新庁舎の敷地は、現在の二宮果樹公園の用地を神奈川県から取得し、老木化した、果樹畑の場所に建設します。役場庁舎機能、教育委員会・こども家庭センターの一部機能を集約した施設とします。
- ・来庁者動線や機能性を考慮し、建物を北棟、南棟の2棟にわけて計画します。
- ・本庁舎を北棟、教育委員会・こども家庭センターを南棟に配置した計画とします。
- ・2棟を底でつなぐことで、分棟ながらも一体感のある計画とします。
- ・南北側に来庁専用駐車場を計画し、東側に公用専用駐車場を計画することで、だれもが利用しやすい駐車場計画とします。



◇敷地概要

敷地所在地	神奈川県中郡二宮町二宮 1199-1
用途地域	第1種住居地域
防火地域	準防火地域
敷地面積	10,000㎡ 程度
建ぺい率	60%
容積率	200%

◇施設概要

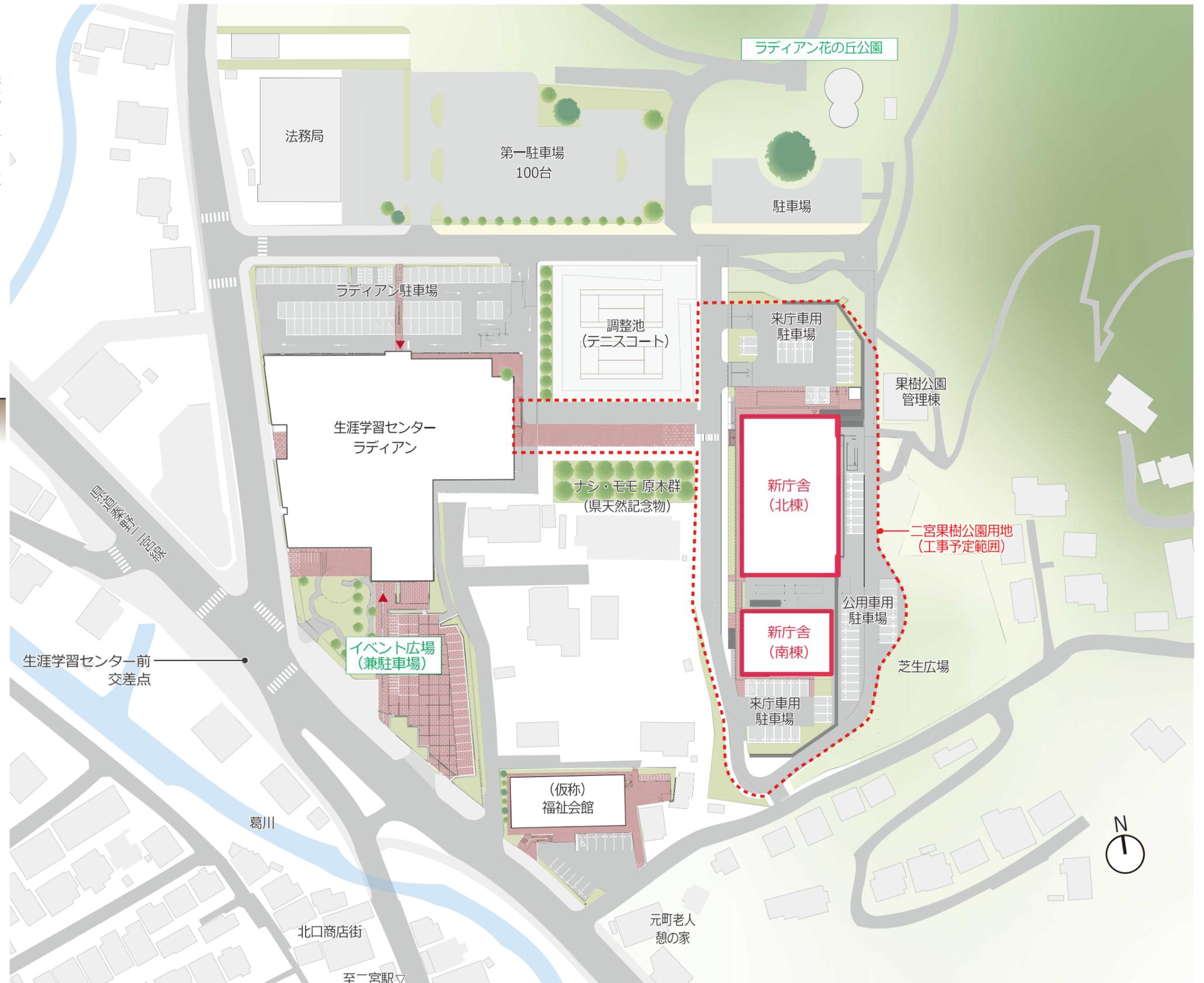
「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」より、北棟をⅠ類A類甲類、南棟をⅡ類B類乙類とします。

【北棟】

建築面積	1,690㎡
延べ面積	3,650㎡ (1階 1,240㎡、2階 1,205㎡、3階 1,205㎡)
構造種別	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階

【南棟】

建築面積	540㎡
延べ面積	957㎡ (1階 478.5㎡、2階 478.5㎡)
構造種別	軽量鉄骨造
階数	地上2階



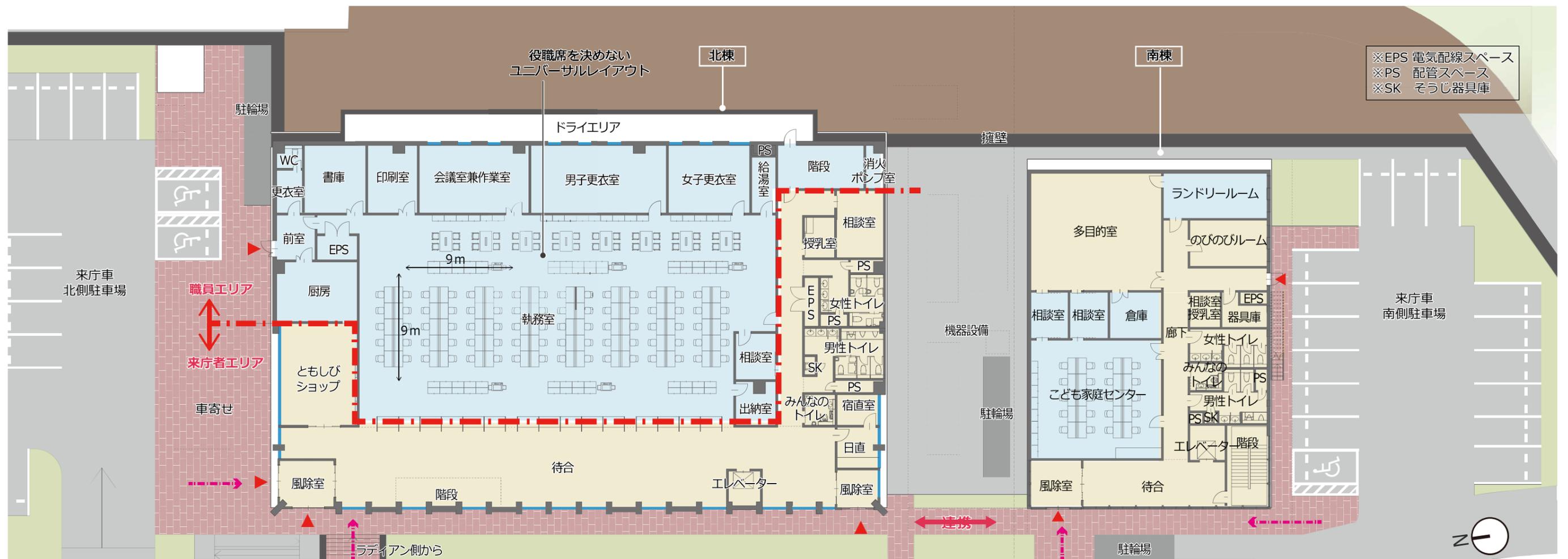
■ 平面計画 1階

1階平面計画の考え方

- ・西側に待合、来庁者用の階段を計画し、来庁者の共用部を集約することで、ラディアンや駐車場からの利用者動線を受け止める計画とします。
 - ・来庁者エリアと職員エリアを明確に分けることで、誰もが利用しやすい計画を実現するとともに、共用部を減らした効率的な計画とします。
 - ・9mグリッドの柱配置により、窓口を見渡すことのできる広々とした、わかりやすい計画とします。
 - ・1階には来庁者の多い窓口を配置するとともに、南棟との連携が必要となる窓口を設置することで、来庁者・職員共に利用しやすい機能的な計画とします。
 - ・執務室はユニバーサルレイアウトを採用し、将来の組織改編に柔軟に対応ができる計画とすることでランニングコストにも配慮した計画とします。
- ※ユニバーサルレイアウト: 役職席を決めず机を横一列にする配置計画。



1階待合スペース



1階平面図 S=1/300

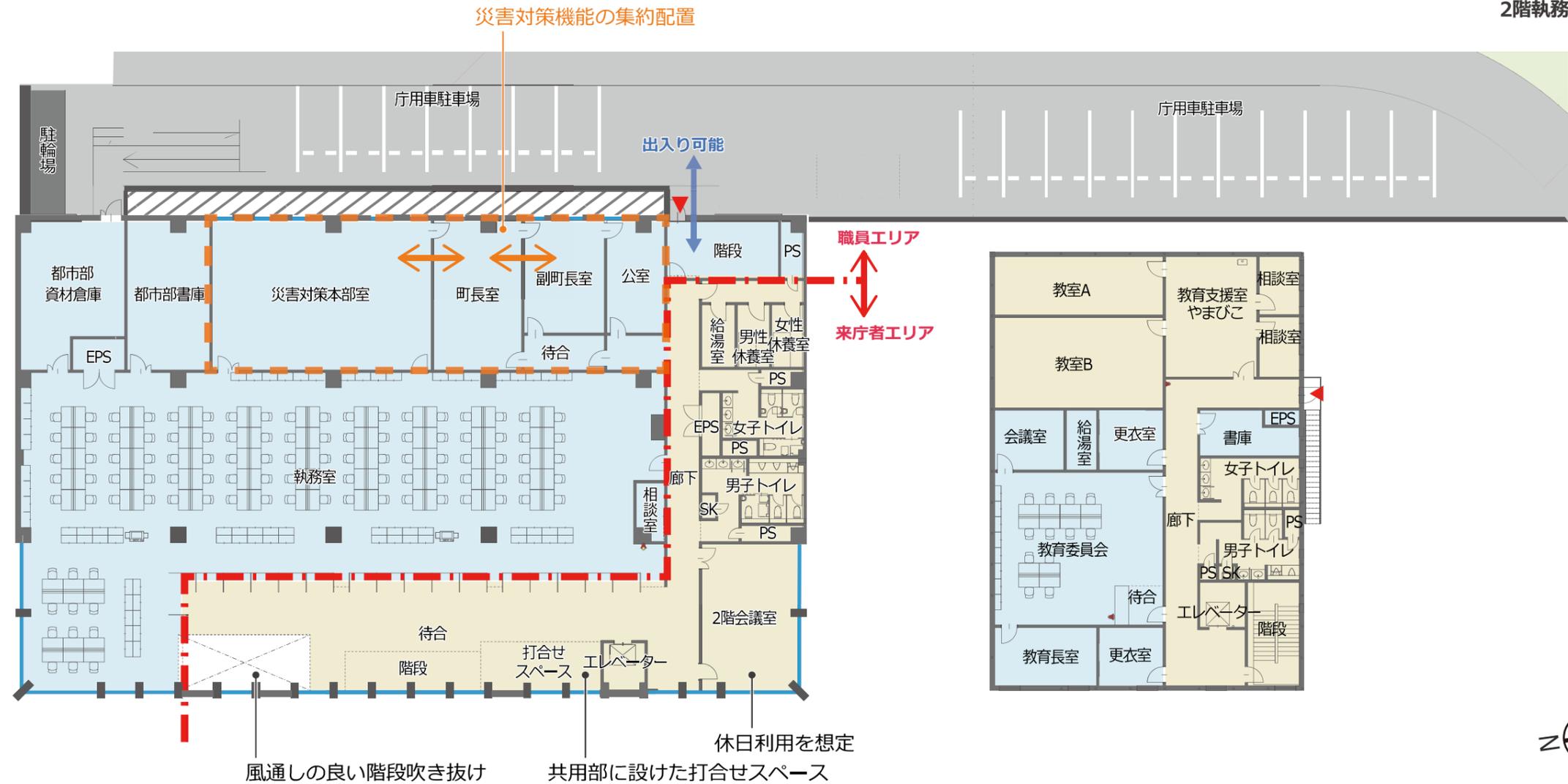
■ 平面計画 2階

2階平面計画の考え方

- ・2階は主に行政窓口を設置するとともに、災害対策機能を集約配置することで災害時に迅速な対応・連携のしやすい計画とします。
- ・1階同様に職員工エリアと来庁者エリアを明確に分け、使いやすい計画とします。
- ・来庁者と職員の打合せスペースを待合スペースに設けることで、共用部を有効利用した計画とします。
- ・2階会議室は休日利用を考慮したセキュリティ計画としており、地域に開かれた開放的な会議室として計画します。
- ・敷地内のレベル差を活かし、東側地上から直接出入りが可能なバック動線を設けた計画とします。



2階執務室スペース

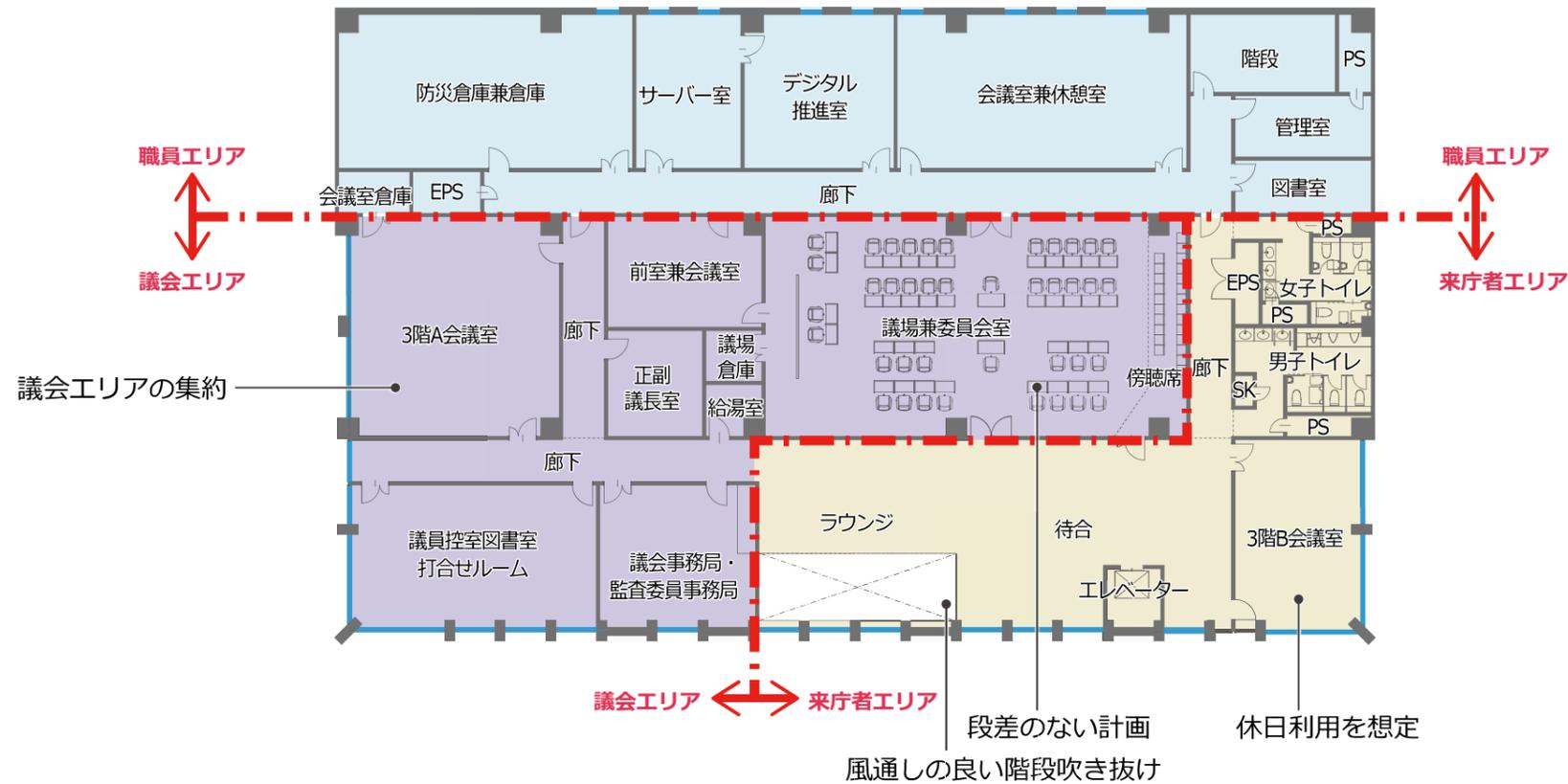


2階平面図 S=1/300

■ 平面計画 3階

3階平面計画の考え方

- ・主に議会エリアとし、機能を限定することで管理のしやすい計画とします。
 - ・議会運営用の音響や映像システムを効率良く活用するため、議場と委員会室を兼ねた計画とします。
 - ・議場は段差のない計画とすることで、災害時等において議会以外の利用も見込める計画とします。
 - ・議場はハイサイドライトを設けた計画とし、明るく風通しのよい計画とします。
 - ・議会見学スペースや待合を西側に配置し、ラディアン地区からみた新庁舎の外観に議会活動が垣間見える計画とします。
- ※ハイサイドライト:壁面の高い位置に取り付けた窓。

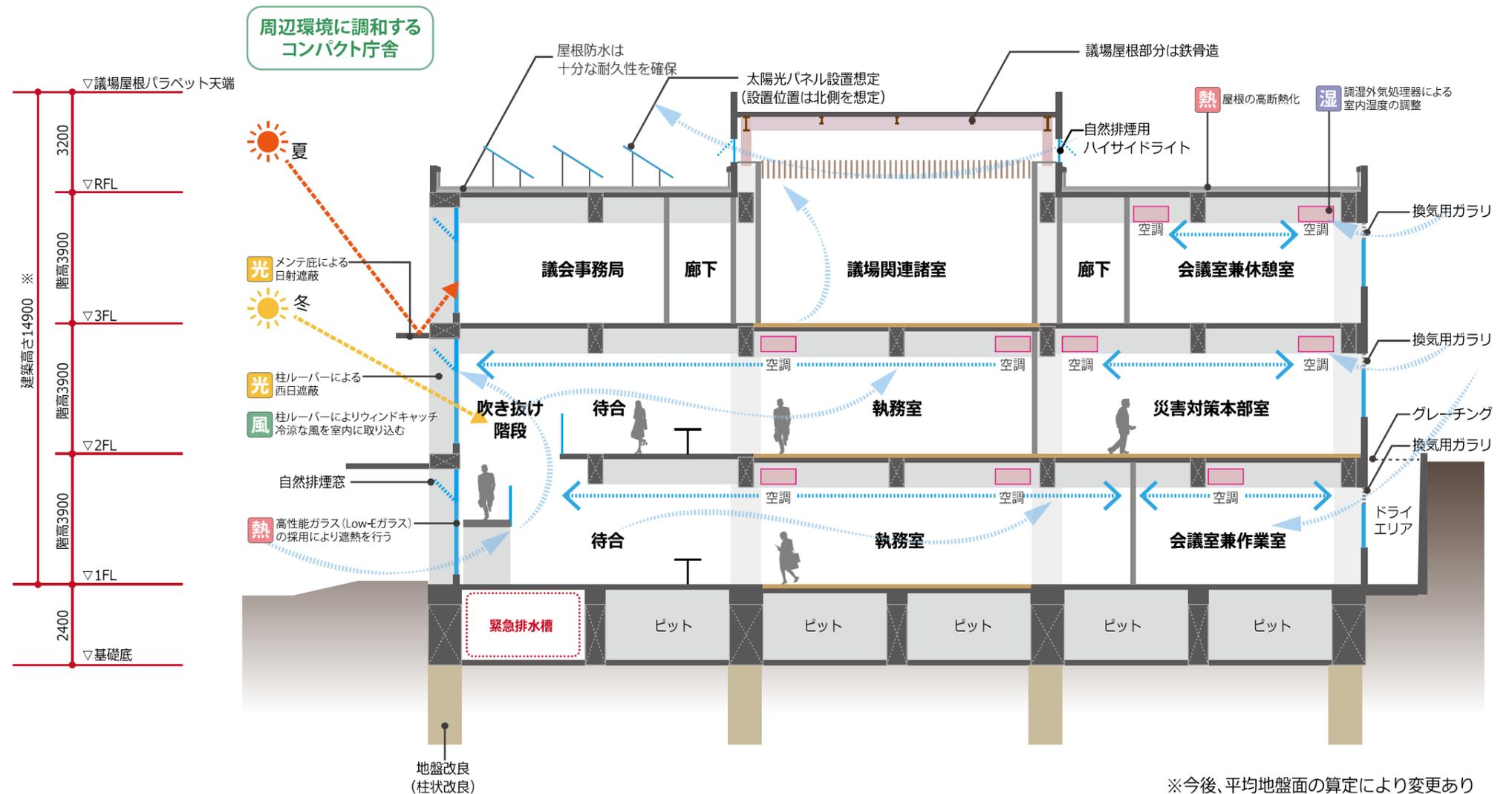
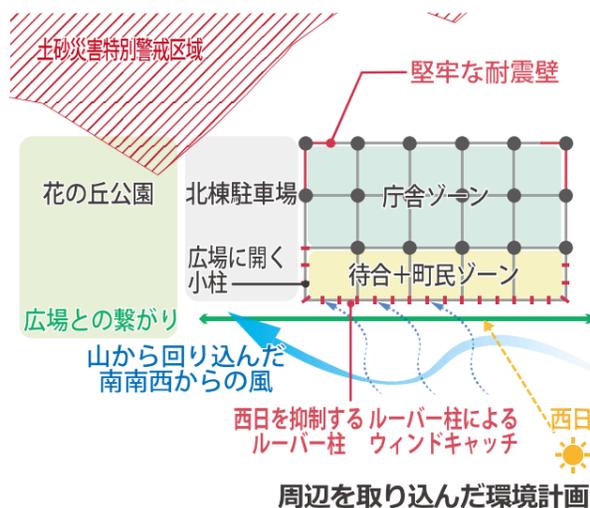
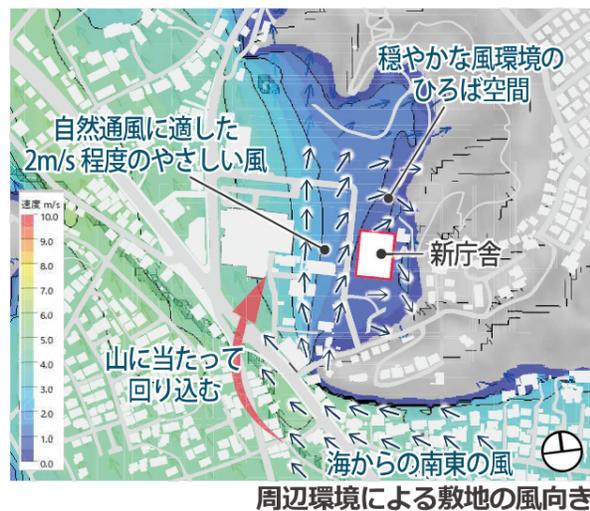


3階平面図 S=1/300

■ 周辺敷地の風土を活用した環境計画

- ・自然の地形が生み出した涼やかな風を、構造フレームを活かしたRC細柱列柱でウインドキャッチすることで、自然通風を促進するパッシブデザインとします。
- ・西面は構造躯体を活用した柱ルーバーによって、西日の抑制を行い、日射負荷を低減します。
- ・階高を抑えることで、コストを抑制するとともに、背後の山の景観に調和する計画とします。
- ・共用部に設けられた直通階段による吹き抜けによって、風の通り道をつくり、機械に頼らない自然換気を促進します。
- ・執務室や倉庫等を天井レスとし、コストを抑制すると共に執務室内を広がりのある計画とします。
- ・高効率な省エネルギー設備(照明や空調機等)を採用することで、環境負荷とランニングコストの低減を図り、ZEB Readyの取得を目指します。
- ・調湿外気処理器を採用することで、配管レスかつ各階換気によるダクト縮減を図るとともに、湿度の細やかな管理により温度を大幅に下げることなく、室内の快適性を高めます。

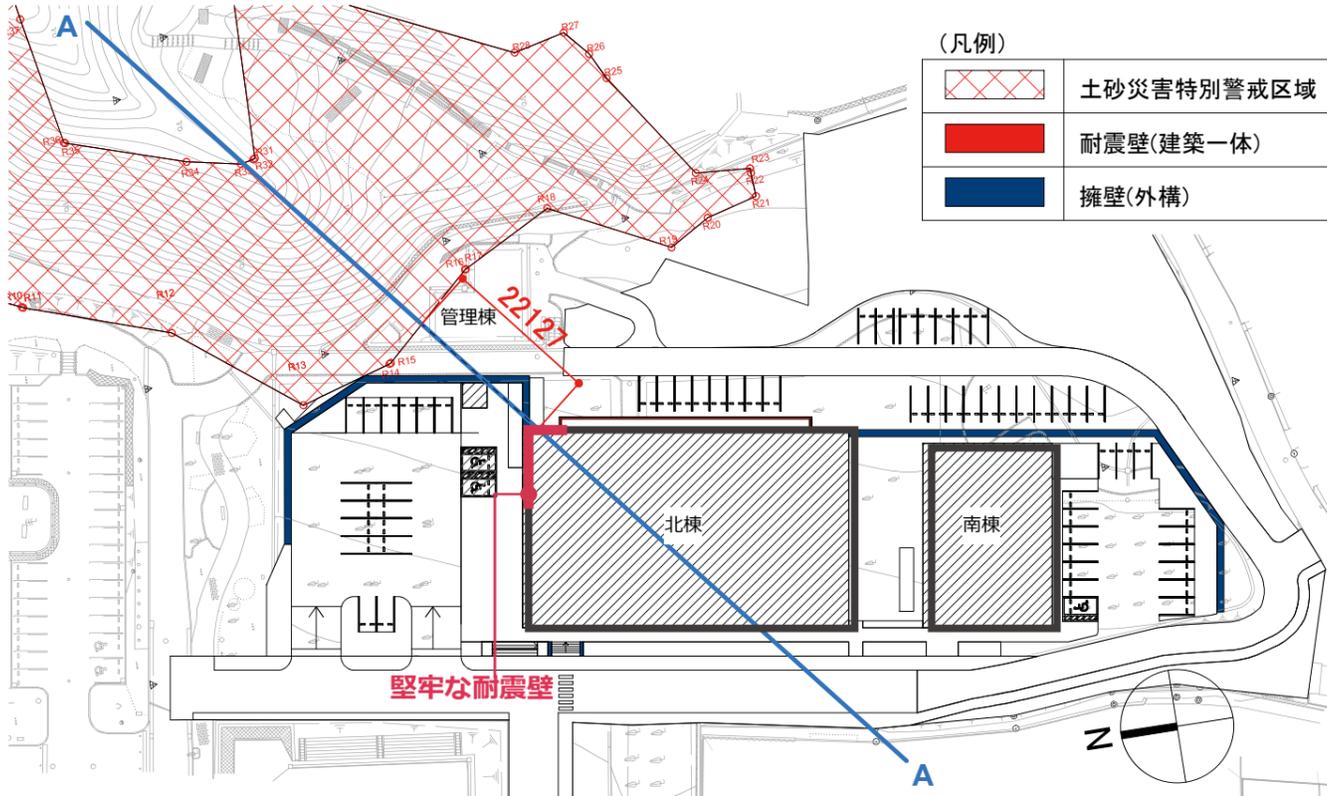
※ZEB Ready: 環境省の定める従来の建物で必要なエネルギーを50%以下まで削減したスマートビル



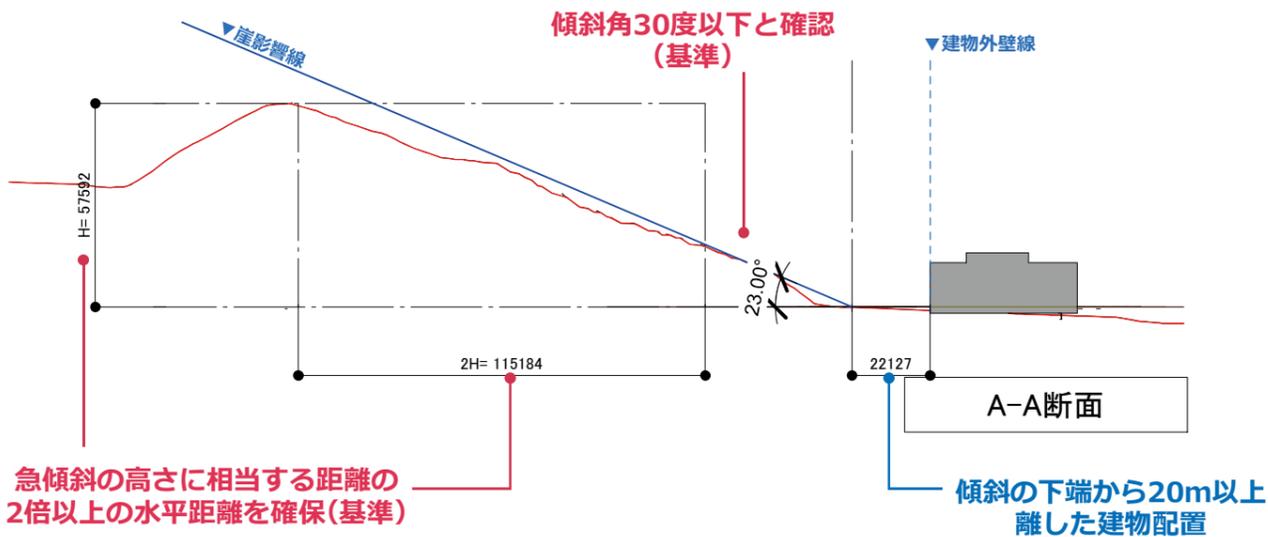
※今後、平均地盤面の算定により変更あり

■ 土砂災害特別警戒区域の対応

- ・庁舎敷地は土砂災害特別警戒区域の範囲外と確認がとれています。
- ・計画建物が神奈川県建築基準条例 第2条の2(災害危険区域の指定)において指定される区域の崖影響範囲外である旨の確認を行います。
- ※崖地の傾斜について、国交省国土地理院地図の3Dデータを用い確認を行います。



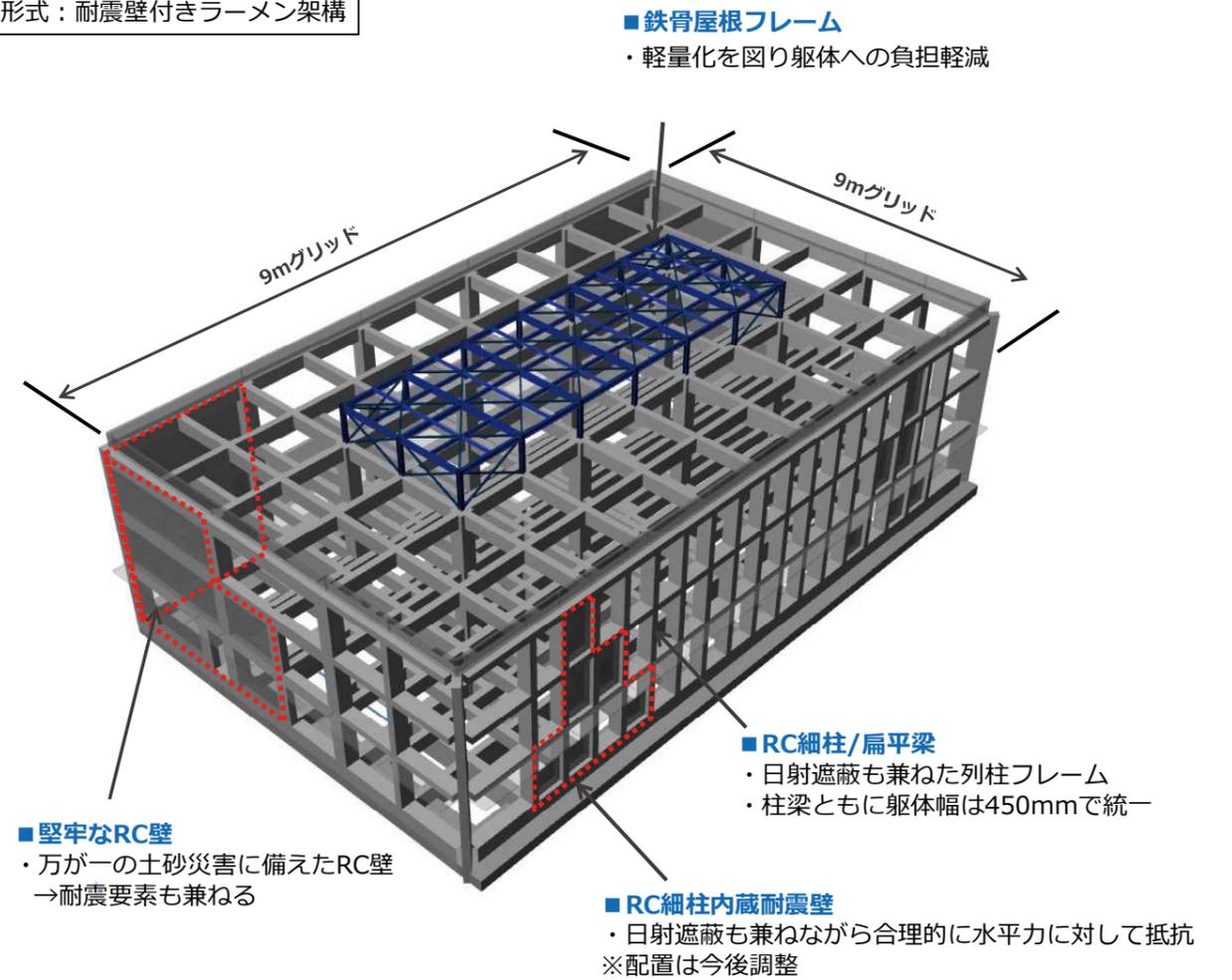
(凡例)	
	土砂災害特別警戒区域
	耐震壁(建築一体)
	擁壁(外構)



■ 構造計画概要

- ・構造種別は「鉄筋コンクリート造:耐震I類庁舎(一般建物の1.5倍の耐震性)」、架構形式は「耐震壁付きラーメン架構」とします。
- ・9m×9mグリッドの内部空間には、耐震壁は設けず、建物の将来対応を見据えた自由度の高い空間を構築します。
- ・建物は斜面から離れた位置に計画していますが、万が一の土砂災害に備えて斜面に近い北東側には堅牢なRC壁を設けます。
- ・西側は日射遮蔽も兼ねた「RC細柱列柱」に部分的に耐震壁を設けることで、地震力等の水平力に対しても合理的に抵抗できるフレームとします。
- ・最上階の議場屋根は鉄骨フレームで構成し、軽量化を図ることで地震力の低減や基礎への負担を軽減した計画とします。

庁舎(耐震構造)
 構造種別: 鉄筋コンクリート造
 架構形式: 耐震壁付きラーメン架構



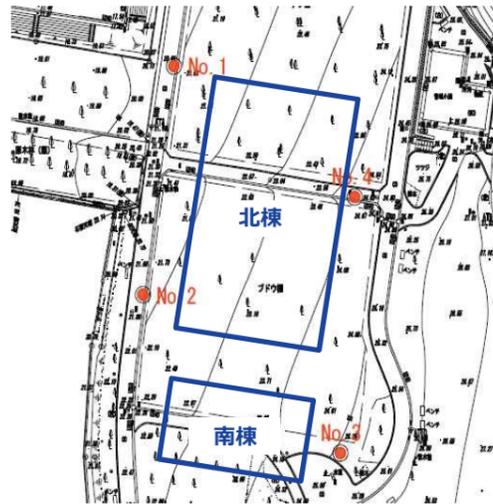
■ 地盤概要

(1) 地盤の特徴

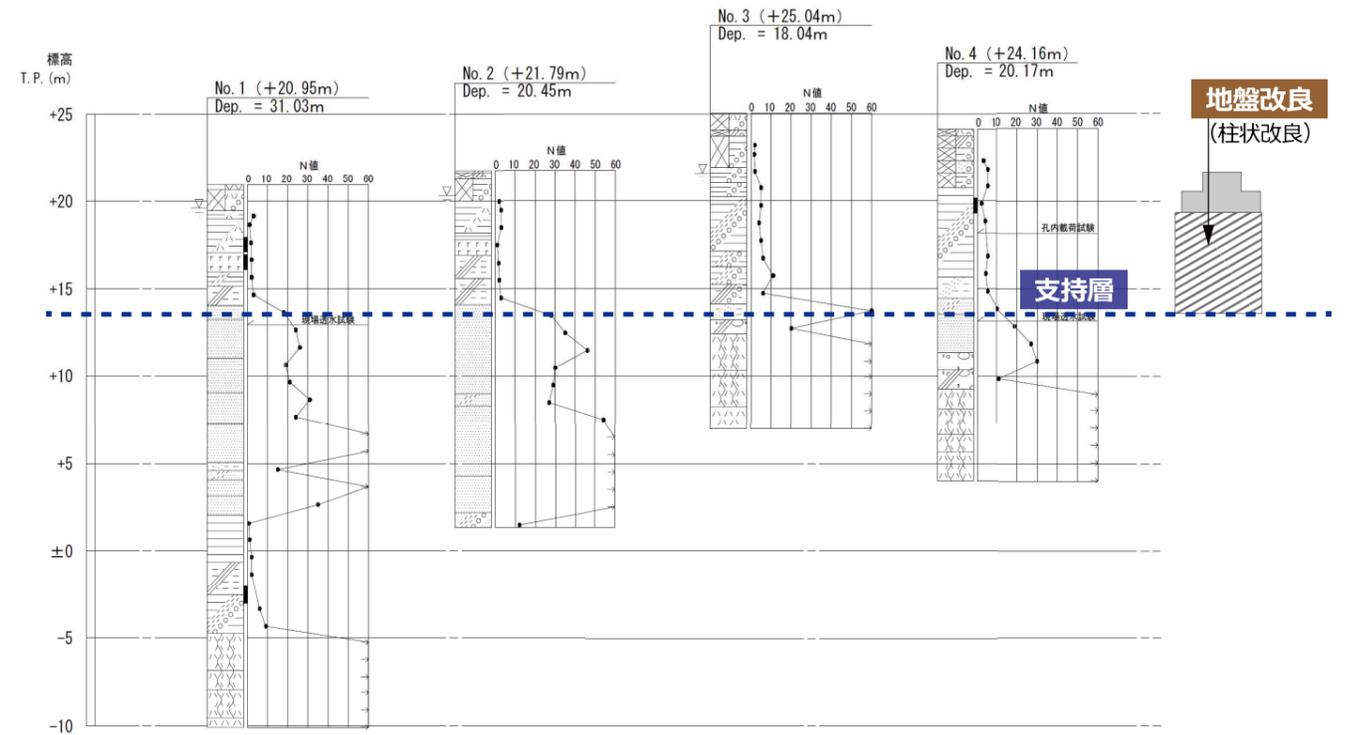
- ・土層は表層からN値の小さい埋土層と粘土層があり、その下層にN値20以上の砂質土層があります。さらに下層にN値50以上の凝灰岩があります。
- ・N値50以上の凝灰岩は東側から西側に向かって深くなり、最大で20m程度の高低差があります。

(2) 基礎形式の想定

- ・建物規模に適した地耐力が確保可能で、現場での管理もしやすいTP.+13.5m付近(深度管理)の砂質土層または凝灰岩を支持層とした『地盤改良併用直接基礎』とします。
- ※TP: Tokyo-wan peil 東京湾平均海面のこと。



地盤調査位置図



(3) 液状化の可能性について

- ・表層から3mの細砂層に自然水位がありますが、N値20以上の比較的硬質な地盤が連続するため地震時の液状化の可能性は低いと考えられます。『e-かなマップ』において、「液状化対象外」とされています。



液状化想定図(e-かなマップ:大正型関東地震)

■ラディアン周辺における災害時の役割と連携

ラディアン周辺地区の災害時機能転換

- ・新庁舎は災害発生後72時間外部からの支援が無くとも活動のできる発電機設備や緊急排水槽を設けるとともに、飲料水、雑用水を確保した機能維持可能な庁舎とします。
- ・新庁舎は「災害対策本部」を設置し被災状況を的確に把握し、災害情報を収集・発信します。また、防災組織や関係機関と速やかに連絡を取り、応援要請や連携を図ります。
- ・生涯学習センターラディアンは「中央応急救護所」となり、応急医療を行います。ラディアン及び第一駐車場、花の丘公園、庁舎一体は「広域避難場所」となります。
- ・新庁舎南棟の駐車場は、緊急輸送道路である県道秦野二宮線とのアクセスが良いことから、応援車両及び応援物資の受け入れ場所として機能します。
- ・(仮称)福祉会館はボランティアセンターとして復興に向けて機能します。

各施設が連携し、災害時活動や情報発信、町民ケアを行うことで、ラディアン地区一体が、町民にとって安心できる防災拠点として機能します。



生涯学習センター リニューアル基本設計（案）

■生涯学習センターリニューアル テーマ・コンセプト

生涯学習センターとしての課題

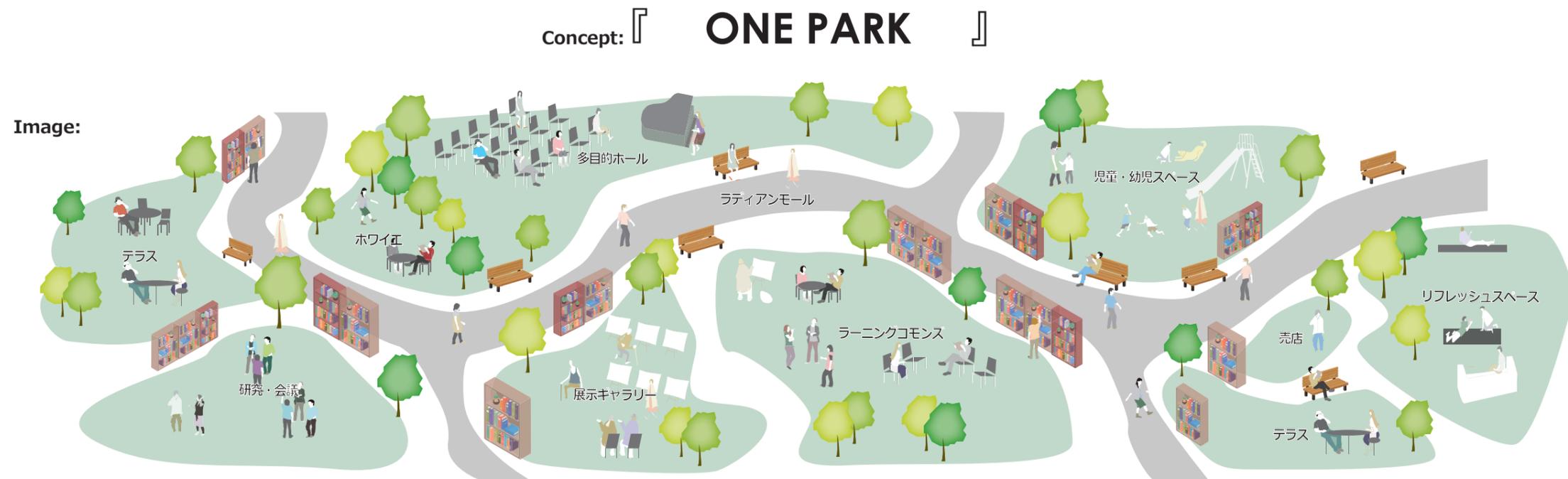
- ・施設の有効利用が図られていない
- ・図書館の利用者数が減少している
- ・図書館やホールを目的とした利用者以外が足を運ばない
- ・滞在、閲覧スペースが少ない
- ・飲食スペースが少ない
- ・学生の学習スペースが少ない
- ・展示ギャラリーの未利用期間がある

Theme: 『 町民が集い・憩う。みんなの居場所となる公園のような施設づくり 』

生涯学習センターは、図書館とホールなどの複合施設であり、**町民の生活や交流の拠点として、「ラディアン」の愛称で多くの町民に親しまれている施設**です。特に図書館は多くの蔵書を備え、人々が様々な情報を求めて訪れる**「人と本（情報）が繋がる場所」**として利用されてきました。

しかし、近年ではデジタル化も進み、図書館に求められる役割は変化しつつあり、また、図書館を含む生涯学習センターを、より多くの町民が安心して集い、気軽に利用することができるよう、**これからの時代を見据えた環境に整えていく必要があります。**

そこで、本計画では、老朽化した箇所の改修にあわせて、時代の垣根や境界を取り除き、**誰もが自由に過ごし、繋がり、集まる1つの公園をイメージした整備**をすることで、**新たな「人と本」の繋がりに加え、「人と人」「人と活動」「人と暮らし」「人と施設」を繋ぐ、『人』が中心の新たな交流拠点づくり**を行います。



■ 新たな図書館構成のデザイン

“人”と“本”をつなぐ

- ・施設全体を図書館として設える
- ・ICタグの導入による本の自由な持出
- ・通り抜け空間に溢れ出す本棚
- ・遊具のような本棚新設(児童・幼児)

■ 機能のデザイン

“人”と“活動”をつなぐ

- ・様々な活動単位に応じたスペースづくり
- ・展示空間、発表の場の提供
- ・コワーク、ラーニングcommonsの設置
- ・飲食も可能なリフレッシュ空間の構築

■ 防災のデザイン

“人”と“暮らし”をつなぐ

- ・災害への備え(転倒防止)
- ・中央応急救護所としての機能
- ・災害対策拠点(庁舎)との連携

■ 使いやすさのデザイン

“人”と“施設”をつなぐ

- ・複合施設から混合施設へ
-ホールと図書館の垣根を外す-
- ・目的に合った明快なゾーニング計画
- ・わかりやすいサイン計画
- ・安全な外構計画

■ 居場所のデザイン

“人”と“人”をつなぐ

- ・施設全体に拡張する
本を読む居場所づくり
- ・自然と触れ合う広場
- ・屋外テラス(閲覧スペース)の開放

■ リニューアルイメージパース

『活動と本の溢れる公園の中の散策路』



周辺施設とも繋がる動線の骨格「ラディアンモール」は、本と活動の溢れるモール空間として整備します。
公園の中を散策するように様々な活動や本と出逢える空間として演出します。

『木漏れ日の落ちる子どもの学び空間』



児童と幼児の書架スペースは、吸音パネルを兼ねた大木の葉や書架を兼ねた壁により、
他のフロアへの声の響きを和らげ、子ども達が太木の下で自由に本を読み、
また、靴を脱いで座ったり、寝転んだりしながら、ゆったりした空間の中で新たな発見をする場として演出します。

『親子で集う学びの舞台』



段床形式の開架書架とし、座って本を読むこともできるスペースとして整備します。
親子と一緒に本を読むなど、様々な形で本と繋がることのできる学びの舞台として演出します。

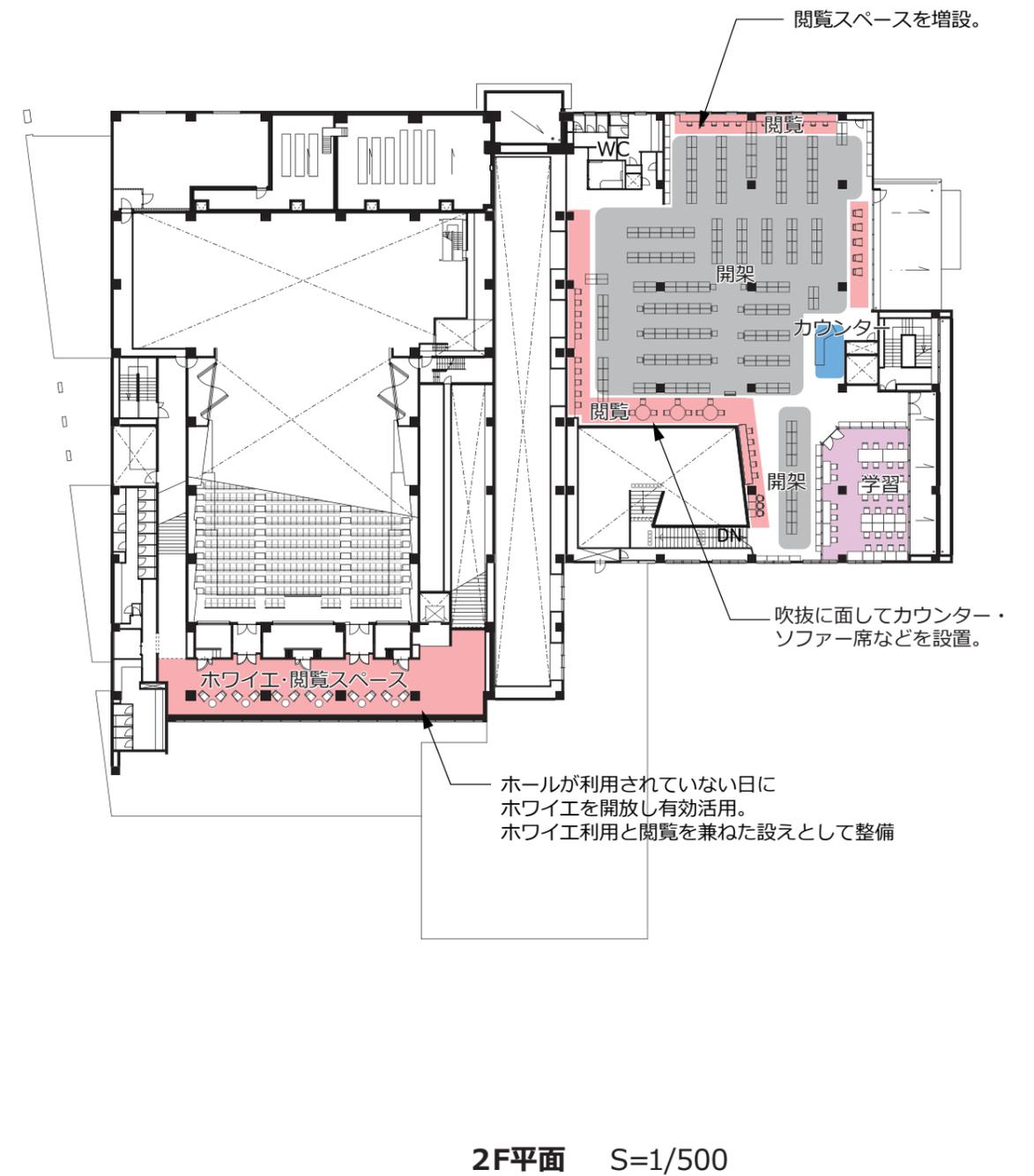
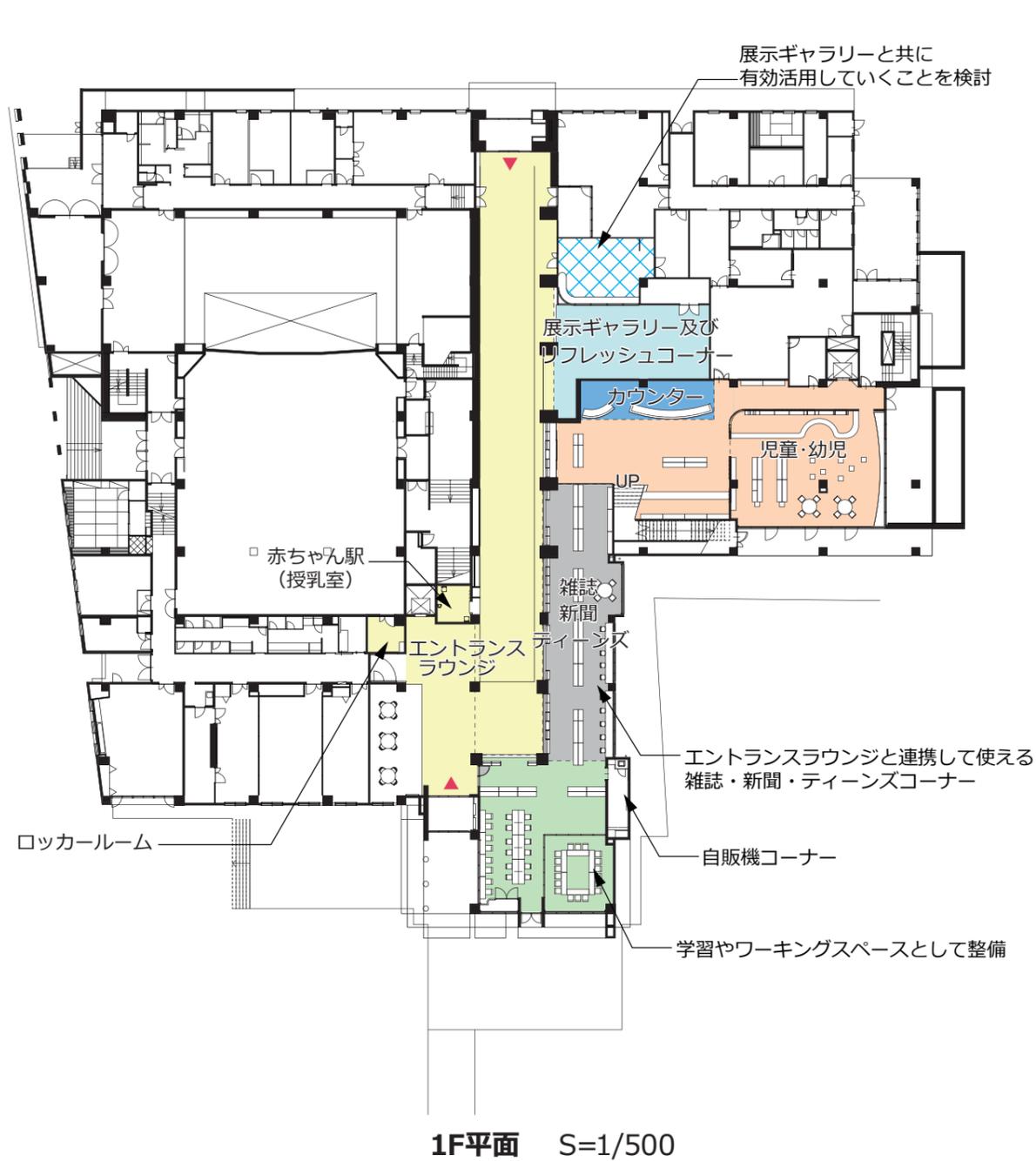
『様々な本・資料と向き合うワーキングスペース』



誰もが集中して本や資料と向き合うワーキングスペース。
仕切りのあるデスクやガラスパーティションに囲まれた部屋を選択し、勉強や仕事と向き合う集中スペースとして整備します。

■内部計画の考え方

本のICタグ採用を受け、施設メイン出入口風除室部分にBDSを設置することで、施設全体を図書館スペースとして有効活用する計画。
ラディアンモール全体をエントランス・ラウンジ空間として計画し本棚を配置していくことで、利用者と本の出会いのきっかけを創り出し、好きな本を様々なスペースで閲覧することのできる計画。

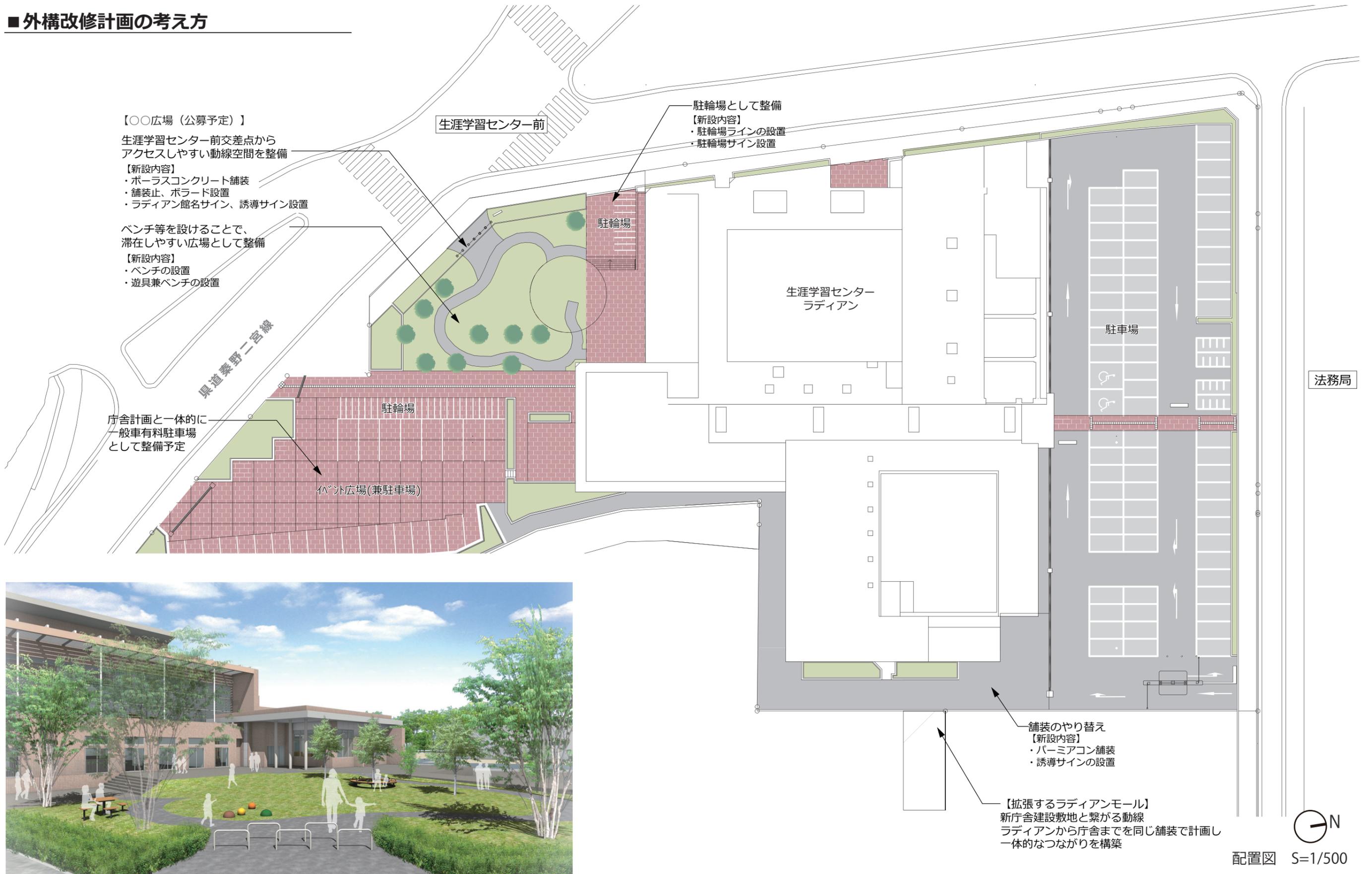


	エントランス・ラウンジスペース		児童・幼児スペース		学習スペース
	開架スペース		カウンタースペース		学習・多目的・コワーキングスペース
	閲覧スペース		リフレッシュスペース		将来的に有効活用していくことを検討



図書館入口 (BDSの設置箇所想定)
※BDS:ブックディテクションシステム
→図書館のセキュリティシステム

■外構改修計画の考え方

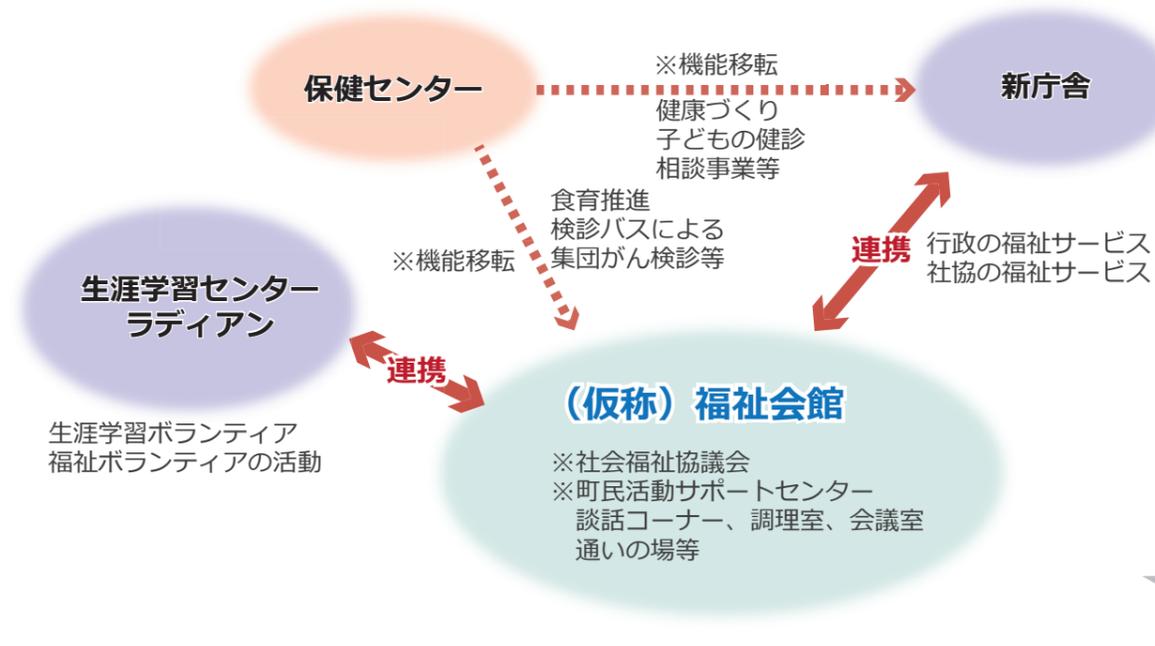


『自然と戯れる○○広場』 生涯学習センター前の交差点からアクセスしやすい動線空間を確保することで、誰もが自由に自然と繋がる広場空間として計画します。

(仮称) 福祉会館基本設計 (案)

■ (仮称) 福社会館 テーマ・コンセプト

1. (仮称) 福社会館の役割



(仮称) 福社会館の目的

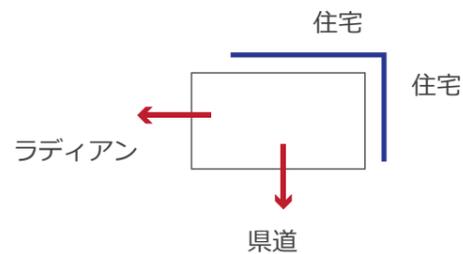
- ・ 町民福祉とともに、健康増進や食育推進を高める場
- ・ 福祉団体ボランティア等の”町民活動の発展を図る拠点”
- ・ 社協と行政の福祉サービスをつなぐ連携の場

設計コンセプト・テーマ

町民のだれもが気軽に集い、人と人とのつながりが強まる場所。

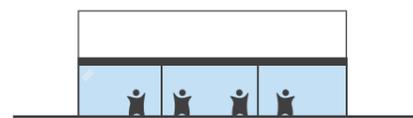
2. 外観計画のポイント

① 周辺環境に配慮したボリューム



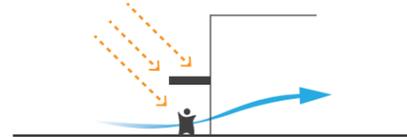
県道、ラディアン、住宅と異なる周辺環境を受け入れる計画とします。

② 人の活動をみせるガラスの立面



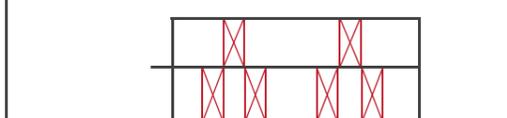
低層部の立面をガラスとし、町民の活動が外観に現れる計画とし、町ににぎわいを広げていきます。

③ 人や自然を受け入れる庇



建物の正面に庇を設けることで、人や風が入り込む計画とします。日射抑制しながら、居心地の良いあたたかい空間づくりをします。

④ 災害についての配慮



浸水対策として、フロアレベルを上げた計画とします。軽量鉄骨造とブレースの採用により、コストを抑えながらも安全性に配慮した計画とします。

⑤ 外壁についての配慮



塩害対策とし、さびにくくメンテナンス性に優れた外壁素材を選定します。また、隣接するラディアンに対応した色調、自然になじむ色彩計画とします。

■内観・外観イメージ



ラディアン側(南西側)からみた外観計画

ラディアンと県道に対し開いた、外観計画とします。

庇を設けることで、日射の抑制を図りながら暖かい日が差し込み、風の通り抜けのしやすい、居心地の良い空間とします。



県道(南側)からみた外観計画

1階はまちに開き、活動を見せる外観計画とします。

直射日光の入る2階は、開口率を下げた計画とし、室内の快適性を重視した計画とします。



エントランス・ラウンジ

施設全体のエントランスとして町民を受け入れる場であるとともに、受付の待合・福祉団体ボランティアの打ち合わせスペースとします。交流が生まれ、活動を活発化できるようなあたたかみのある空間づくりを行います。



鳥瞰からみた外観計画

周辺住宅に配慮したコンパクトな建物とし、周辺に調和する外観計画とします。

■ 計画の考え方について

前提条件

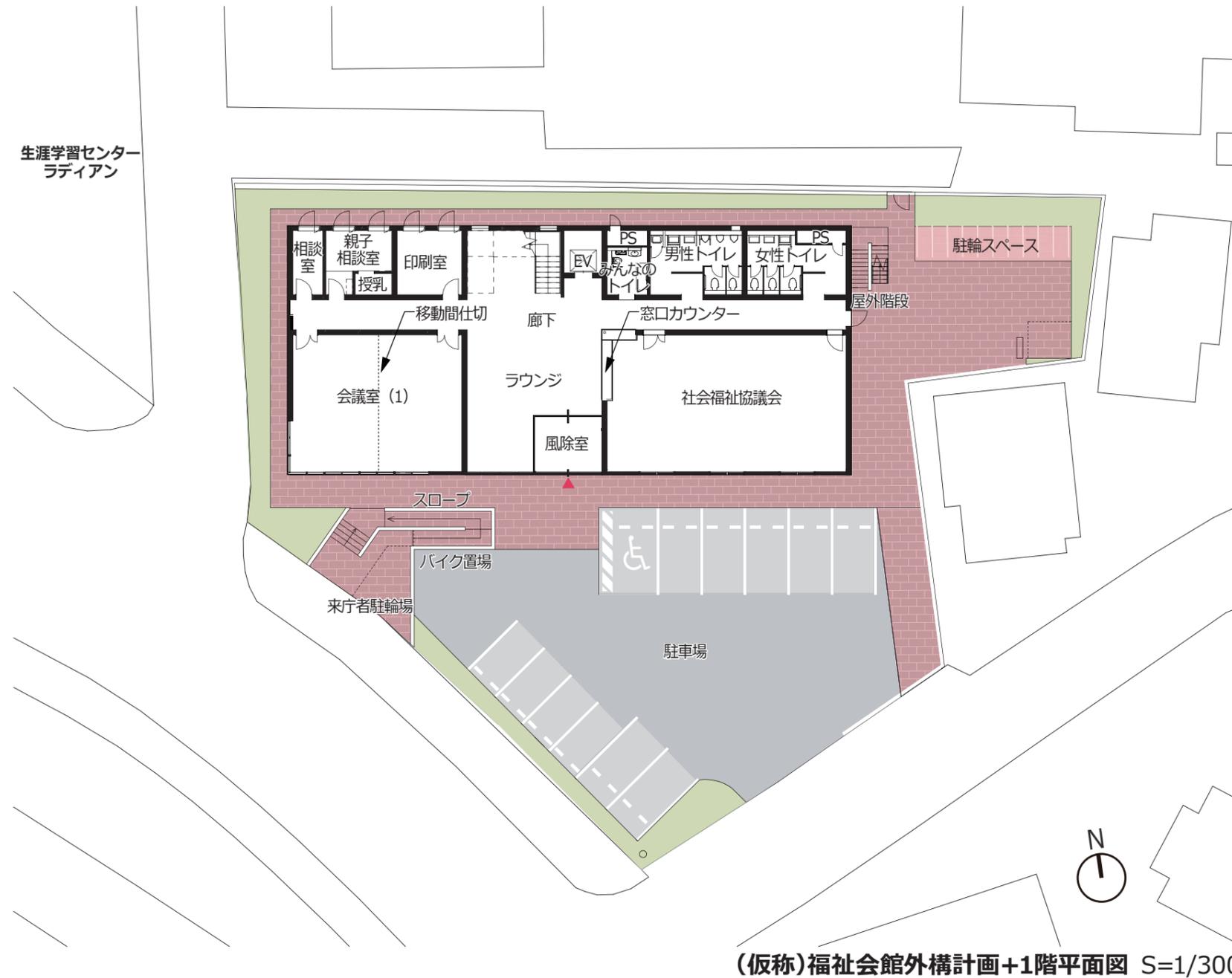
- ・軽量鉄骨 2階建て、915㎡程度とします。
- ・屋内階段1つ、屋外階段1つとして計画します。
- ・廊下幅は1600mm以上とし、誰もが利用しやすい計画とします。

システム建築条件

- ・基本的には2mグリッドで柱を配置します。

【凡例】

	緑化計画地
	歩道（カラーアスファルト）
	駐車場（アスファルト）
	駐輪スペース（コンクリート舗装）



（仮称）福祉会館2階平面図 S=1/300

【諸室について】

- ・ **ラウンジ**: 福祉団体ボランティアの打合せスペースとして利用
印刷室も併せて利用
- ・ **各会議室**: 会議や通いの場、町民活動の場として利用
- ・ **相談室/親子相談室**: 福祉に関わる相談場所
- ・ **調理室**: 食育推進等の活動の場として利用

事業スケジュールと財源計画について



事業スケジュール

施設	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11・12
新庁舎	基本設計	実施設計+施工一体			→	移転作業
ラディアン	基本設計	実施設計	施工			
(仮称)福祉会館	基本設計				実施設計+施工一体	



財源

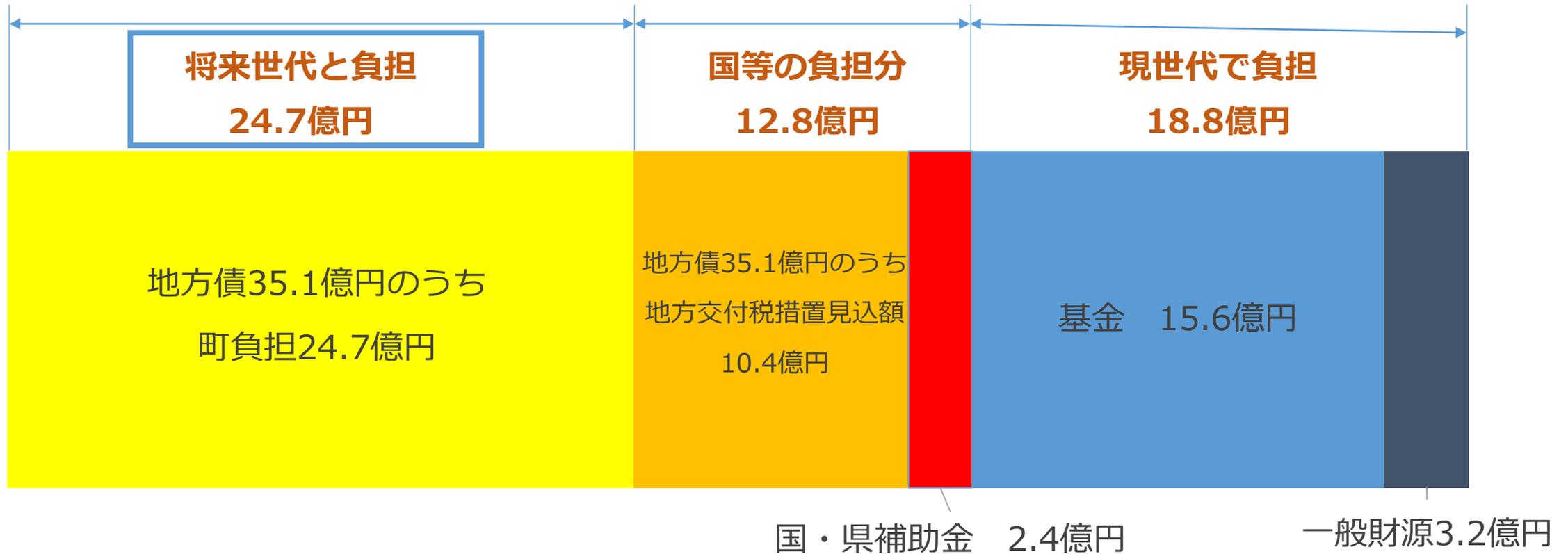
3施設の整備に係る概算事業費と財源は、以下を想定しています。

施設	事業費	財源			
		国・県補助金	地方債	基金	一般財源
新庁舎 土地購入及び埋蔵文化財調査費3.3億円 外構工事費2.7億円 什器・備品費、移転費1.0億円等を含む	35.0億円	0.9億円	19.7億円	11.6億円	2.8億円
ラディアン 長寿命化改修工事費9.7億円 ホール天井等の耐震改修工事費2.6億円 エレベーター更新費0.5億円等を含む	16.8億円	1.5億円	13.9億円	1.3億円	0.1億円
(仮称) 福祉会館 外構工事費0.4億円 什器・備品、移転費0.1億円等を含む	4.5億円	0円	1.5億円	2.7億円	0.3億円
合計 (交付税措置額)	56.3億円 (10.4億円)	2.4億円	35.1億円 (10.4億円)	15.6億円	3.2億円



財源構成

○総事業費56.3億円の財源構成





24.7億円の地方債の償還イメージ

○利率1.5%の場合

名称	実質元金負担額	平均償還年数	年間負担額
新庁舎	13.8億円	30年間	約5,730万円
ラディアン	9.4億円	20年間	約5,460万円
(仮称) 福社会館	1.5億円	20年間	約870万円
合計	24.7億円	—	約1.2億円 (当初20年間)

総負担額

約29.8億円



24.7億円の地方債の償還イメージ

○利率2.5%の場合

名称	実質元金負担額	平均償還年数	年間負担額
新庁舎	13.8億円	30年間	約6,570万円
ラディアン	9.4億円	20年間	約6,000万円
(仮称) 福社会館	1.5億円	20年間	約960万円
合計	24.7億円	—	約1.4億円 (当初20年間)

総負担額

約33.6億円

二宮町教育委員会点検評価のとりまとめの方向性について

二宮町教育委員会基本方針（令和5年度）の体系を全面的に見直したことを機に、教育委員会点検評価も見直し効果的な運用を図る。

■今後のスケジュール

6月定例会 ・とりまとめの方向性を確認
・内部評価（案）を確認（各事業結果・総論部分の意見）
※ ご意見がある場合は、事務局に7月12日頃まで送付

7月 ・内部評価（案）に対する意見への回答 【事務局→委員】
※中学校教科書採択があるため、書面での調整を行う。

8月定例会 ・内部評価（案）の確定

9月 外部評価委員による評価

10月定例会 二宮町教育委員会点検評価・確定

■見直しの方向性

○これまでの点検評価

（別添：参考資料3 令和5年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書（令和4年度事業分）・抜粋）

第1章 教育委員会の活動状況について（抜粋ページ 15、22、23、24）

教育委員会議の運営状況、学校訪問、研修会、その他の活動状況、教育委員会議の公開
教育委員会の活動状況点検評価

第2章 教育委員会における主要事業（抜粋ページ 28、29）

教育総務課及び生涯学習課の点検評価

第3章 外部評価意見（抜粋ページ 45）

○今後の点検評価

第1章 総論（教育委員会の活動状況等、主要事業に対する総論） → 本資料 裏面参照

第2章 教育委員会における主要事業 点検評価（教育総務課・教育指導課・生涯学習課）

→ 資料2 - 2参照

第3章 外部評価意見【変更なし】

第1章 総論ページのイメージ

二宮町教育委員会は、効果的・効率的な教育行政の推進を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、「二宮町教育委員会点検・評価報告書」をまとめました。

前段

KGI

KGI（重要目標達成指標）の進捗は、基準値と比較し小学校は2.3ptの上昇、中学校は2.2ptの減少となっています。中学校の数値は上昇していませんが、事業全体の取組状況等を踏まえ、令和5年度の取り組みは一定の成果を上げたものと評価しました。

事業

全●事業のうち、総合評価「A評価（大いに成果が得られた）」は●事業、「B評価（おおむね適正に取り組んでいる）」は●事業、C評価（改善する必要がある）」は●事業、「D評価（事業の再検討が必要である）」は●事業という結果となりました。

まとめ

事業全体としては、一部進捗が芳しくないものもありますが、進捗はおおむね順調であると考えられます。特に●●事業は総合評価を「A」としていますが、……の点や……の結果を考えると、その進捗や成果は著しいものであり、今後の事業の取り組みについても大いに効果が期待できるものです。一方で、全体的に、……が減少している傾向があるため、……により一層推進する必要があると考えます。

OKGI（重要目標達成指標）の進捗状況

学校教育・社会教育

項目	基準値	実績	比較	目標値（令和9年度）
将来に夢や目標を持っている児童生徒（肯定的な回答の割合） 【全国学力・学習状況調査】	小学校 80.5% 中学校 69.6% (令和4年度実績値)	小学校 82.3% 中学校 67.4% (令和5年度実績値)	2.3pt ↑ 2.2pt ↓	小学校 85.0% 中学校 75.0%

○令和5年度の教育委員会の活動状況

事業名等	内容	備考
教育委員会会議	開催回数 12回 議案件数 ●件 傍聴 ●名	
学校訪問	●月●日 二宮小学校 ●月●日 二宮中学校 ●月●日 一色小学校 ●月●日 二宮西中学校 ●月●日 山西小学校	
教育委員会関係行事	・総合教育会議 3回（5月、8月、1月） ・教職員等辞令交付式 4月 ・教職員等転退職者辞令交付式 3月 ・各種研修	

第2章 教育委員会における主要事業 点検評価イメージ

別添 参照

内部評価方法の見方

○ 指標（令和5年度実績）

施策に紐づけられた指標の実績について評価します。

評価視点

- A 達成（100%）
- B 概ね達成（70%）
- C 充分とは言えない（50%）
- D 未達成（50%未満）

※実績が出ない場合は、「評価不可」となっています。

<参考 「指標の見直し」欄>

令和6年度の教育方針で指標を見直したものは、この欄に反映してあります。なお、既存の指標の見直し以外に、新規で追加したものについては、後述の「改善点及び今後の方向性」の欄に反映してあります。

○ KPI達成への有効性

上記の指標の結果を踏まえ、各予算等事業の有効性を評価します。

○ 施策の取り組み及び総合評価

施策の「成果」「今後の課題」「改善点及び今後の方向性」について整理し、施策を総合的に評価します。（重点事業の内容については下線を引いてあります）

総合評価視点

- A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
- B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
- C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
- D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

基本方向性	1-① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成
-------	--------------------------

施策評価

施策	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進	評価者	教育指導課					
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とした学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。 さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名	<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性	説明				
	1	言語活動の充実【重点事業】	－	有効だった	学校研究等を軸にして、5校が一体となって推進することができた。			
	2	情報活用能力の育成【重点事業】	－	有効だった	ICT支援員と連携し、積極的かつ効果的な活用をすすめることができた。			
	3	英語教育推進事業【重点事業】	－	有効だった	英語の研修会で、小中学校の英語教育の取り組みについて話し合うことができた。			
	4	道徳教育・特別活動の充実	－	有効だった	9年間を見通しながら活動の充実を図ることができた。			
	5	読書機会の充実	－	有効だった	中学校では、朝読書を推進することができた。			
	6	学校体育の充実	－	有効だった	小中学校の先生で、運動の習慣づくりを行うために計画を立てて実施した。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	80.5%	80.5%			85.0%	B
		中学校	87.1%	87.1%			90.0%	
	実績	小学校	80.5%	87.0%				
中学校		87.1%	75.3%					
指標の見直し	町全体の特徴を反映できるようにするため、全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値見直し】							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	65.6%	65.6%			70.0%	A
		中学校	83.5%	83.5%			90.0%	
	実績	小学校	65.6%	72.2%				
中学校		83.5%	78.0%					
指標の見直し	町全体の特徴を反映できるようにするため、全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】							
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	週3回以上、授業でICT機器を使用する割合						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	63.1%	63.1%			70.0%	A
		中学校	85.1%	85.1%			95.0%	
	実績	小学校	63.1%	78.4%				
中学校		85.1%	95.0%					
指標の見直し	－							
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	92.3%	92.3%			95.0%	A
		中学校	96.9%	96.9%			98.0%	
	実績	小学校	92.3%	97.2%				
中学校		96.9%	95.5%					
指標の見直し	－							

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	中学3年生の英検3級取得率							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	中学校	42.6%	42.6%				50.0%	C
	実績	中学校		17.7%					
指標の見直し	町全体の特徴を反映できるようにするため、中学3年生のCEFR A1レベル（英語検定3級レベル）相当以上の資格を取得しているまたは、相当以上の英語力を有すると思われる割合【英語教育実施状況調査】に指標を変更する。								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・5校が一体となって取り組むことで、進学・進級してもスムーズに話し合いの授業を行うことができるようになっていく。 ・ICT機器を活用した授業改善等は着実に進んでいる。 ・英語の授業の楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均より高く、日々の授業での取り組みの成果が出ている。 	
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定奨励金制度の活用が十分ではない。 ・端末更新時期を迎え、学校の活用状況を踏まえたICT環境の評価・見直しが必要。 ・教科特性を踏まえた言語活動の充実とカリキュラム・マネジメントによるアウトプット機会の確保 	
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業改善を進めていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジする生徒数を増やしていくことが課題である。また、英語に親しむ機会の充実を目指して、中学での海外交流に加えて、小学校でもEnglishDayを設ける。 ・NEXTGIGAに向けて、学校現場にとって活用しやすいICT環境の整備を進めていく必要がある。 ・カリキュラムマネジメントを校内や学園内で行うことで、言語活動の充実を図りたい。 	
	総合評価	B	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	1-② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	------------------------

施策評価

施策	(1)小中一貫教育の推進		評価者	教育指導課					
施策内容	子どもたちの資質能力を育成するために、小中学校教員による9年間のカリキュラム研究や、共通性と一貫性をもった学級づくり、授業づくりを推進します。また、施設一体型小中一貫教育校の設置に向け、教育の内容や施設の在り方について研究を進めます。								
主な関連事業	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性	説明					
	1	小中一貫教育カリキュラム研究の推進【重点事業】	-	有効だった 教科ごとに9年間を見通した指導方法等について研究を深めることができた。					
	2	かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施	-	有効だった 5校全体で共通性と一貫性をもって取り組むことができた。					
	3	施設一体型小中一貫教育校設置に向けた研究【重点事業】	-	有効だった 研究会を開催し、提言書作成に向けて、議論を進めることができた。					
	4	郷土理解の促進による郷土愛の育成【重点事業】	-	有効だった 総合的な学習の時間を中心に郷土学習を進めることができた。					
	5	小中一貫教育に関する町民への情報提供の促進	-	有効だった 各校や役場のHPを通じてのみや学園の取り組みを発信することができた。					
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	53.8%	53.8%				60.0%	A
		中学校	60.3%	60.3%				70.0%	
	実績	小学校		62.5%					
		中学校		60.7%					
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	62.1%	62.1%				70.0%	C
		中学校	58.3%	58.3%				65.0%	
	実績	小学校		59.6%					
		中学校		49.4%					
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	学校に行くのは楽しいと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	77.4%	77.4%				80.0%	B
		中学校	84.0%	84.0%				85.0%	
	実績	小学校		81.9%					
		中学校		74.2%					
指標の見直し	町全体の特徴を反映できるようにするため、全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	49.2%	49.2%				55.0%	A
		中学校	46.4%	46.4%				50.0%	
	実績	小学校		74.5%					
		中学校		62.4%					
指標の見直し	-								

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	小中一貫教育の認知度						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	37.6%	37.6%				50.0%	B
	中間		42.0%					
指標の見直し	—							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・にのみや学園が開校し、にのみや学園プロジェクトを着実に進めることができている。 ・総合的な学習の時間で、防災やまちづくり、平和、環境など地域をテーマにした学習に一貫して取り組んでいる。 ・各校や教育委員会が積極的に情報発信し、にのみや学園の取組の周知に努めている。 ・社会科副読本をデジタル化し、全学年で活用できるようにした。郷土学習にも資するツールにもなった。
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、魅力ある学校づくりを進めていく必要がある。 ・にのみや学園プロジェクト（子ども同士の交流）については、対象学年、内容等についてよりよいものにしていく必要がある。 ・にのみや学園の取組の周知方法を工夫する。 ・郷土学習の充実に向けて、学校運営協議会等と連携して、地域とのかかわりを深めていけるとよい。
	改善点 及び今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・町民も参加する教育講演会等の機会で、にのみや学園の取組を報告する。 ・にのみや学園プロジェクトを実施する際は、保護者や地域にも参観を呼びかける。 ・研究会からの提言書を受けて、今後の施設一体型小中一貫教育校設置に向けた流れや事業の進め方について検討する。
	総合評価	B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	1-② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	------------------------

施策評価

施策	(2)コミュニティ・スクール運営の促進		評価者	教育指導課				
施策内容	各学校のコミュニティ・スクールの特色を相互に共有し、更なる活性化を図るとともに、学校運営協議会の円滑な運営により、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進します。							
主な関連事業	予算等事業名		<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性	説明			
	1	学校運営協議会の円滑な運営のための支援【重点事業】	-	有効だった	情報交換や課題の共有を行うことで、各学校の運営協議会同士で連携を図ることができた。			
	2	地域との連携による児童生徒の活動の促進	-	有効だった	地域の人材が学校の教育活動に参加することで教育活動の充実や地域の活性化につながった。			
	3	コミュニティ・スクールに関する町民への情報提供の促進	-	有効とは言えない	学校運営協議会の活動を通し、コミュニティ・スクールの周知を行っているが、認知について高くないため引き続き周知を行っていく必要がある。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	30.7%	30.7%			40.0%	A
		中学校	21.1%	21.1%			30.0%	
	実績	小学校		-				
中学校			-					
指標の見直し	令和5年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、「地域の行事に積極的に参加している児童生徒（肯定的な回答の割合）【学校評価アンケート】」に指標を変更する。							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	21.4%	21.4%				30.0%	A
	実績		22.9%					
	指標の見直し	-						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたことに各学校運営協議会の活動が活発に行われるようになってきた。 ・夏休み中に行われた、放課後子ども教室についても小学校毎ではなく3校合同で開催を行うことができ、にのみや学園として小学生同士の交流を行うことができた。 ・令和5年度より各学校運営協議会の開催時に同じ中学校グループの協議会委員がオブザーバーとして参加することで、お互いの情報交換等を行い連携出来ることや課題について共有を行っている。
	今後の課題	・各学校の運営協議会の活動が通常に戻っていく中で、協議毎に活動内容や課題があり、地区によっても受け止めに対して温度差があるため、にのみや学園としての学校運営協議会として向かっていく中で、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知を行いコミュニティスクールの認知を高めて行く必要がある。
	改善点及び今後の方向性	にのみや学園の学校運営協議会として向かうための活動内容や課題の共有および地域に対してのコミュニティスクールの周知活動を引き続き行っていく。
	総合評価	B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	1-③ 学校教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化		評価者	教育総務課				
施策内容	地域とともにある開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会や地域学校協働活動の関係者をはじめ、多様な地域人材との連携を図りながら、学校ホームページ、学校だより、町ホームページや広報紙等の多様な手法により、タイムリーで効果的な情報の継続的な発信に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明		
	1	学校ホームページや町ホームページ、 広報紙等の積極的な活用	-	有効だった		様々な媒体を活用し、情報発信ができた。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	学校ホームページアクセス回数（5校合計の月平均）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	23,000回	23,000回				25,500回	B
	実績		10,000回					
	指標の見直し	コロナの影響を受けている年度の基準値と実績との乖離を踏まえ、コロナの影響が落ち着いた年度の数値を基準値とする。【基準値・目標値見直し】						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	学校だより、ホームページなどを通して、学校の様子を保護者に伝えようと努めていると思う保護者の肯定的な割合（5校平均値）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	88.7%	88.7%	88.7%				B
	実績		88.5%					
	指標の見直し	-						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	令和2年4月より学校ホームページを開設し、令和3年度は平均23,000回のアクセス数があったが、令和4年度は約11,000回、令和5年度は約10,000回と一定のアクセス数はあるものの、アクセス回数は下降してきている現状である。
	今後の課題	学校ホームページにアクセスすることで保護者や地域にとって必要な情報を得られるような工夫をしながら、開かれた学校運営の情報発信基盤としての安定運用につなげていきたい。
	改善点及び今後の方向性	コロナの影響を大きく受けアクセス回数が多かった令和2年度・3年度ではなく、比較的落ち着いた令和4年度のアクセス回数を基準値とし、継続して取り組んでいく。
	総合評価	B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(1)支援が必要な児童生徒への対応の充実		評価者	教育指導課					
施策内容	誰もが安心して通うことができる学校づくりを進めるとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場の確保に努めます。また、学校、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門職や、医療・福祉等の関係機関と連携をとりながら、児童生徒や保護者の思いに寄り添った切れ目のない相談支援体制の充実を図ります。								
主な関連事業	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性	説明					
	1	教育相談体制（就学相談含む）の充実【重点事業】	-	有効だった	SC,SSWの適正配置し、早期発見・早期対応できる体制を整えることができた。				
	2	インクルーシブ教育・支援教育の充実【重点事業】	-	有効だった	支援教育補助員の増員、まなびの教室の新設など共に学ぶ仕組みを整えた。				
	3	幼保小連携推進事業	-	有効だった	スタートカリキュラムを意識した連携事業を実施することができた。				
	4	支援教育補助員の配置	-	有効だった	支援を必要とする児童生徒が増加している状況を踏まえて、3名増員した。				
	5	医療的ケア受入実施体制の確立	-	有効だった	医療的ケア看護職員を配置して、安心して学べる環境を整備することができた。				
	6	中学校の制服の在り方の検討【重点事業】	-	有効だった	アンケートをもとに、今後の制服の方向性を計画立てることができた。				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	誰にも相談していない児童生徒数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	0人	0人				0人	B
		中学校	7人	7人				0人	
	実績	小学校		4人					
		中学校		1人					
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	60.0%	60.0%				70.0%	B
		中学校	65.5%	65.5%				70.0%	
	実績	小学校		64.2%					
		中学校		61.8%					
指標の見直し	町全体の特徴を反映できるようにするため、全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	新規不登校者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	5人	5人				5人	B
		中学校	15人	15人				15人	
	実績	小学校		4人					
		中学校		4人					
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	不登校率							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小 低	0.9%	0.9%				0.9%	C
		小 高	2.1%	2.1%				2.1%	
		中学校	6.2%	6.2%				6.2%	
	実績	小 低		2.0%					
		小 高		1.7%					
中学校			4.5%						
指標の見直し	-								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・SCを増員するなど教育相談体制を強化することができた。 ・スクリーニング実施を通して、これまで以上にきめ細かく対応するための仕組みを整えた。 ・まなびの教室、校内教育支援センターの新設など「共に学ぶ、共に育つ」ためのシステムづくりを進めることができた。 ・教育支援室の柔軟な運営について改善を図ることができた。 ・フリースクール等とのネットワーク会議を開催し、学校と関係機関の顔の見える関係づくりをすすめることができた。 ・医療的ケア実施に係るガイドラインに基づき、適切に医療的ケアを実施することができた。 ・幼保小の連携事業を工夫することで、異学年交流の充実を図ることができた。（5年生の参画）
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として、不登校児童生徒は増加し続けていることから、校内教育支援センター拡充が必要である。 ・また、配慮を必要とする児童生徒が増えていることから、子どもたちの学校生活を支える支援教育補助員の増員が不可欠である。 ・通級指導教室、校内教育支援センターの目的や内容を教職員全体で正しく理解して、一人ひとりに合った適切な学びの場を整える必要がある。 ・アンケートの実施回数が増えている。 ・心理検査依頼件数が増加し、現在の体制では対応が難しい。
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・校内教育支援センターを全校に設置する。 ・心理検査を行うカウンセラーを確保する。 ・アンケートの負担軽減を図りながら実施する。 ・幼保小連携事業の内容の充実を図る。
	総合評価	

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(2)教職員の働き方改革の推進		評価者	教育総務課					
施策内容	「学校の働き方改革に関する基本方針」に基づき、学校間ネットワークや統合型校務支援システム、タブレット端末等の有効活用を進めるほか、教職員が担うべき業務の適正化についても検討を進め、校務や教材研究等に集中できる時間や児童生徒と向き合う時間の確保に向けた取り組みを推進します。また、勤怠管理システムの活用や部活動の地域移行の推進等により、ワークライフバランスを含むタイムマネジメント等の意識改革を進め、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、やりがいをもって職務に従事できる環境を整備します。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明			
	1	働く場としての環境整備【重点事業】	-	有効だった		校務支援システムなどのICT環境、SCなどのサポート人材の充実など、職場環境の改善の一助となっている。			
	2	部活動の地域移行に向けた検証【重点事業】	-	有効だった		将来に向けて、部活動における条件の整理を開始できた。			
	3	学校の運営に係る地域人材の活用【重点事業】	-	有効だった		地域の方の協力を得て、地域教育力を活用した授業が行っている。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	教職員の時間外勤務の月の平均時間							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	36.3時間	36.3時間				30.0時間	B
		中学校	58.4時間	58.4時間				30.0時間	
	実績	小学校		33.2時間					
中学校			60.5時間						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	教職員に占める高ストレス者の割合							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	13.2%	13.2%				10.0%	B	
	実績		10.3%						
指標の見直し	-								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談・支援の充実として、専門的知識を有するSCやSSWを適正に配置し、早期対応を行うできる環境整備を図った。（R5 SCを小学校に週1日常駐） ・支援が必要な児童生徒一人ひとりのニーズに対応するため、必要となるサポート人材として支援教育補助員を配置した。（R5 3名増員） ・校務支援システム、勤怠管理システム等のICTを活用し、業務の効率化及び業務状況を把握できる環境を整えた。 ・教諭の業務をサポートするために、スクールサポートスタッフを5校全校に1名ずつ配置した。 ・休日の部活動の段階的な地域移行に向け、指導にかかる費用負担や人材確保などの課題を検証する。（R5 各中学校 2部活で検証）
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・不必要な業務や負担が軽減できそうな業務を洗い出し、対応方法を変える必要がある。（運営体制の見直し、教員をサポートする人材の確保 等） ・保護者から関心の高い分野については、なかなか見直しがづらい。学校全体の業務の見直しのため、保護者や地域等の合意形成を図りつつ、見直せる環境を整える必要がある。

	改善点 及び今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革は多岐に渡るため、改善できることから一つ一つしっかりと取り組む。また、学校の意見を反映できるよう、校長会や安全衛生推進連絡会などで教職員の意見を聴取するとともに、各校の好事例などを5校に共有し、好循環を生む仕組みを作る。 ・学校現場の現状を保護者や地域と共有できるよう、情報の見える化を図る。また、学校だよりやHP、広報紙などの媒体以外にも、会議での紹介等、様々な機会を活用して周知を図る。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(3)教職員の指導力の向上		評価者	教育指導課					
施策内容	教職員が児童・生徒への理解を深め、指導と評価の一層の改善・充実を図るとともに、教育にかかわる諸課題に対応して求められる資質や能力を育む授業づくりを行うために、各種研究事業の支援および職層・キャリアに応じた教員研修等の充実を図ります。								
主な関連事業	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性	説明					
	1	「教職員授業力向上研究事業」の推進【重点事業】	－	有効だった 各校の状況に合った課題を設定し、授業や研修等を通じて力量形成を図ることができた。					
	2	教育研究所における研修の充実	－	有効だった 子どもたちの居場所づくり等教育課題に合った研修内容を組むことができた。					
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じていると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	80.5%	80.5%				85.0%	B
		中学校	87.1%	87.1%				90.0%	
	実績	小学校		87.0%					
中学校			75.3%						
指標の見直し	町全体の特徴を反映できるようにするため、全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	53.8%	53.8%				60.0%	A
		中学校	60.3%	60.3%				70.0%	
	実績	小学校		62.5%					
中学校			60.7%						
指標の見直し	・「英語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）【全国学力・学習状況調査】」を指標に変更する。								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	62.1%	62.1%				70.0%	C
		中学校	58.3%	58.3%				65.0%	
	実績	小学校		59.6%					
中学校			49.4%						
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	先生はよいところを認めてくれていると思うと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	86.7%	86.7%				90.0%	A
		中学校	92.7%	92.7%				95.0%	
	実績	小学校		91.5%					
中学校			91.0%						
指標の見直し	－								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援、スタートカリキュラム、ICT活用など町の教育施策に応じた研修を実施することができことはよかった。 ・先生の子どもたちへの温かいかわりが、子どもたちにも肯定的に伝わっていることはよい。現在取り組んでいる学び方研究が児童生徒指導対応にも好影響を与えている。
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革と教職員研修の両立を図ること。 ・国語や算数・数学だけでは、評価対象が少ないため、評価対象を広げること。
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・町の教育施策にあった研修内容を今後も計画する。 ・学び方の研究や教科研究を通じて、知的で楽しい授業づくりに取り組んでいく。
	総合評価	

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(4)安心して学べる学校施設の整備				評価者	教育総務課		
施策内容	「二宮町教育等施設長寿命化計画」（個別施設管理計画）に基づき、学校施設の計画的な修繕・改修を推進し、安全で安心できる教育環境の整備に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明		
	1	長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修【重点事業】	—	有効だった		Dランク判定の箇所を計画的に改修ができた。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	「学校施設等現況調査」（令和2年度）におけるDランク判定及び緊急対応箇所の改修割合						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	40.0%	40.0%	70.0%			100.0%	A
	実績		66.7%					
指標の見直し	—							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	Dランク判定21か所のうち14か所について、工事又は修繕が完了した。 また、教育環境の向上を図るため、令和5年度より、特別教室等空調機設置工事に着手し、令和6年度の夏季期間から空調機が稼働できるように工事を進めている。
	今後の課題	令和6年度以降についても、引き続きDランク判定の箇所を中心に、必要な教育環境の整備を実施していく。
	改善点及び今後の方向性	特別教室等空調機設置工事は、国の交付金を活用できたため、町の財政負担軽減に繋がっている。 引き続きDランク判定を優先順位をつけて工事修繕をしていく。
	総合評価	A

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-② 安全・安心な学校づくりの推進
-------	--------------------

施策評価

施策	(1)健康・安全教育の充実		評価者	教育総務課・教育指導課					
施策内容	防災教育や交通安全教育の充実に努めるとともに、二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、地域社会全体で児童生徒の安全確保を図ります。また、子どもたちの健やかな成長や将来的に健康な人生を送るための望ましい知識・習慣を身につける保健教育を充実させるとともに、安全でおいしい給食の安定的な提供を通じ児童生徒が食の大切さを学ぶ食育の充実に努めます。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明			
	1	安全対策、安全教育	—	有効だった		通学の合同点検の実施し、関係機関等による通学路の状況の共有や危険個所の把握を行い、対策等を行った。			
	2	幼保小中一斉引取り訓練	—	有効だった		関係機関の協力の下、今年度も予定通り実施することができた。			
	3	学校給食センターにおける取り組み【重点事業】	—	有効だった		学期に1回の地場産デーに合わせて栄養士による食育を実施することができた。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所+合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	33箇所	33箇所				58箇所	A	
	実績		31箇所						
指標の見直し	—								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	毎日、朝食を食べている児童・生徒の割合							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	94.3%	94.3%				96.0%	A
		中学校	91.2%	91.2%				93.0%	
	実績	小学校		93.7%					
中学校			92.7%						
指標の見直し	—								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、各学校の通学路の現状の把握を行い、8月に関係機関と通学路の合同点検を実施し、児童・生徒見守り重点日を設定し見守りを行った。 ・6月に幼保小中の一斉引き取り訓練を実施 ・学校給食において、地場産デーとして6月に二宮産のたまねぎ、7月に無農薬野菜のなす、ズッキーニ、ピーマンを使用した「夏野菜カレー」、10月に二宮町で取れたサバの「サバの竜田揚げ」、2月に二宮産の原木しいたけを使用した「麻婆豆腐」をそれぞれ提供した。 ・地場産デーに合わせて、給食時間を活用し、栄養士が7月に二宮小学校、10月に山西小学校、2月に一色小学校を訪問し、放送を通じて子ども達に給食の魅力をたっぷり伝え、「食材」を知り、「食」を選択することができる「食育」を実施した。
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の見守りについて、PTAや地域の方との情報共有 ・給食費の段階的な無償化の検討
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、通学路の安全点検を行い危険個所等の把握に努め対策等を行っていく。 ・令和6年度より中学校の給食費無償化を開始する。
	総合評価	A

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(1)社会教育事業の推進		評価者	生涯学習課					
施策内容	家庭・地域・学校が一体となって、未来を担う子どもたちの成長を支える学校支援、放課後子ども教室等の地域学校協働活動を推進します。 また、各種団体や地域と連携・協力し、町民が学習やスポーツなどの生涯学習活動に取り組む環境づくり、きっかけづくりを進めます。 これらを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、様々な人権問題についても研修会等を開催し、人権意識を育みます。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性			説明		
	1	コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進【重点事業】	-	有効だった			地域学校協働活動推進員を中心に、地域と連携した特色ある活動がなされた。		
	2	各種団体との連携による事業実施、地域における学びの支援	-	有効だった			町民大学講座の実施や、地域における学びの充実が進んだ。		
	3	青少年の健全育成【重点事業】	-	有効だった			青少年指導員等と連携し、各種事業を実施した。		
	4	人権教育の推進	-	有効だった			インターネット空間における人権について考える研修会を実施した。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	30.7%	30.7%				40.0%	評価不可
		中学校	21.1%	21.1%				30.0%	
	実績	小学校		-					
中学校			-						
指標の見直し	令和5年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、「放課後子ども教室の登録率（登録数/児童数合計）及び参加した児童の延べ人数」に指標を変更する。								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	21.4%	21.4%				30.0%	B	
	実績		22.9%						
	指標の見直し	-							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室をはじめとする地域学校協働活動の推進に努めた。また、子ども会育成会連絡協議会、青少年指導員、スポーツ推進委員合同による事業を開催するなど、青少年の健全育成に繋がる取り組みも実施した。 町民大学については、多様な学習講座の実施に加えて、継続学習につながる講座や、多世代の交流の場となるような講座を開催し、生涯学習の推進に務めた。
	今後の課題	地域学校協働活動推進員、各種団体との協力や連携、情報提供を継続して行う必要がある。
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 関係者や関係団体との協力や連携、情報提供を継続して行うとともに、社会情勢や町民ニーズを踏まえた取り組みを進める。 施策の進捗をより詳しく計測するため、重要業績評価指標（KPI）に、①にのみや町民大学の申込状況（申込者数/定員数）を加える。
	総合評価	B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(2)図書館事業の推進		評価者	生涯学習課					
施策内容	<p>赤ちゃんからお年寄りまで誰でも気軽に利用できる図書館として、図書館サービスの充実を図ります。町民の「知の拠点」として、本や情報を活用した学びを支えるとともに町民と地域の生き生きとした活動につなげます。特に、子どもの読書習慣の定着を図るため、様々な形で図書館に親しむきっかけを作り、図書館利用を促進します。</p>								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明			
	1	幅広い世代の利用促進【重点事業】	—	有効だった		子どもや子育て世代向けの事業を行い、利用促進に努めた。新たに夏休み期間の「放課後子ども教室」で図書館ツアー等を実施し、子どもが図書館に親しむきっかけ作りに取り組んだ。各年齢層を対象として資料展示やSNS等での資料紹介を行った。様々なテーマで行う資料展示は利用者に好評である。			
	2	図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり	—	有効とは言えない		定期的な受入と除籍により、資料の鮮度維持に努めたが、入館者数の増には繋がられなかった。			
	3	町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用	—	有効とは言えない		行政資料や、「二宮ゆかりの人物」に関する資料の収集を行い、図書館だより等でのゆかりの人物紹介を行ったが、直接入館者数の増に寄与できなかったとは言えない。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名		図書館年間入館者数						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画		174,944人	174,944人				175,000人	B
	実績			138,123人					
指標の見直し		—							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名		読書が好きと回答した児童生徒数（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	70.2%	70.2%				75.0%	A
		中学校	63.9%	63.9%				70.0%	
	実績	小学校		72.8%					
		中学校		65.7%					
指標の見直し		—							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<u>子ども・親子向け行事の実施、資料の充実・紹介に取り組んだ。また、職業体験や見学の受け入れ、学校と連携した資料展示など、小中学生への利用促進に努めた。新たに「放課後子ども教室」と連携した取り組みを行った。</u>	
	今後の課題	<u>引き続き幅広い年齢層の図書館利用促進に継続して取り組む必要があるが、既存の事業に小学校高学年や、成人を対象とした講座や講演会の実施がない。</u>	
	改善点及び今後の方向性	<u>既存事業の対象年齢層とは異なる年齢層を対象とした事業を開催するなど、日常的に図書館を利用しない町民や、様々な世代が利用するきっかけ作りに取り組む。</u>	
	総合評価		B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(3)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供		評価者	生涯学習課					
施策内容	<p>各種文化・芸術団体やスポーツ団体と連携、協働、支援するとともに、各施設の適切な管理運営に努め、町民が様々な文化や芸術、スポーツに触れる機会を提供します。</p> <p>また、長い歴史の中で培われてきた貴重な有形・無形の文化財を保護・保存していくとともに、町民への普及・啓発活動に努め、郷土に対する意識を育みます。</p>								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明			
	1	文化芸術及びスポーツの振興・支援【重点事業】	-	有効だった		文化団体やスポーツ協会と連携し、各種イベントを実施することで、文化や芸術スポーツに触れる機会に繋がられた。			
	2	歴史や文化の保護と普及啓発【重点事業】	-	有効だった		民俗芸能のつどいを開催するとともに、文化財に関する展示を行うことで、文化財保護意識の啓発に繋がった			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	文化祭来場者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	4,273人	4,273人				4,500人	B	
	実績		4,226人						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	ピアノマラソンコンサート参加者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	80組	80組				80組	B	
	実績		74組						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	民俗芸能のつどい観覧者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	405人	405人				500人	A	
	実績		590人						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	52.4%	52.4%				55.0%	B
		中学校	34.0%	34.0%				35.0%	
	実績	小学校		48.3%					
中学校			23.6%						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	体育施設（武道館、体育館、運動場、テニスコート、山西プール、温水プール）の個人入場者数および利用登録団体数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	210,757人 4,894団体	210,757人 4,894団体				21,000人 4,800団体	評価不可	
	実績		137,233人 5,005団体						
指標の見直し	温水プールを令和6年3月31日をもって廃止にすることに伴い、対象施設から温水プールを削除し、指標を変更する。【対象・基準値・目標値見直し】								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	・文化祭やピアノマラソンコンサートの開催、スポーツフェスティバルへの協力などにより、町民が文化や芸術、スポーツに触れる機会の提供に努めた。 ・民俗芸能のつどいの開催などを通じて、地域の歴史や文化の普及啓発に取り組んだ。
	今後の課題	歴史や文化、芸術、スポーツに触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。
	改善点 及び今後の方向性	・各種団体と連携、協働、支援や、活動の場となる施設の適切な管理運営に継続して取り組む。 ・重要業績評価指標（KPI）⑤について、温水プール廃止に伴い、指標を変更する。
	総合評価	

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-② 社会教育施設の管理運営
-------	-----------------

施策評価

施策	(1)各施設の適切な維持管理と運営		評価者	生涯学習課				
施策内容	<p>長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、生涯学習センターラディアンやスポーツ施設など社会教育施設の計画的な修繕・改修に取り組み、安全安心な環境整備に努めます。</p> <p>また、生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向け、事前周知も含めた準備の検討を進めるとともに、他の施設についても「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づいて、町関係部署と連携した取り組みを進めます。</p>							
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明		
	1	安全安心な環境整備と適切な施設運営【重点事業】	—	有効だった		不具合箇所の修繕を適時に行うなど、安全安心な環境整備に努めた。		
2	生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向けた検討	—	有効だった		大規模改修の基本設計を進めた。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	「二宮町教育等施設長寿命化計画（個別施設計画）における健全度D判定評価の対応状況（対応済み数／D判定評価数）」						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	0 / 4	0 / 4				4 / 4	B
	実績		0 / 4					
指標の見直し	温水プールを令和6年3月31日をもって廃止にすることに伴い、対象施設から温水プールを削除し、指標を変更する。【対象・基準値・目標値見直し】							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合箇所の修繕を行い、安全安心な環境整備に取り組んだ。 ・D判定4か所のうち、1か所（屋根・屋上）が該当する生涯学習センターラディアンは、リニューアル工事に向け、施設再編課とともに基本設計を進めた。 ・D判定4か所のうち、3か所（内部仕上げ、電気設備、機械設備）が該当する町民温水プールは、令和5年度末をもって廃止した。
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な環境整備に継続して取り組む必要がある。
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合箇所の早期発見と対処を行い、安全安心な環境整備に取り組む。 ・生涯学習センターラディアン及び図書館の改修については、工事に向け実施設計を着実に進める。
総合評価		B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-③ 社会教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化		評価者	生涯学習課				
施策内容	町民が等しく生涯学習の機会を得られるよう、二宮町ホームページや広報紙等を通じて、学習・文化、スポーツ等の情報を積極的に発信していきます。							
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性		説明		
	1	二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用	-	有効とは言えない		ホームページやFacebookを活用し、時機を得た情報発信に努めたが、新聞等のメディア掲載には繋がらなかった。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	生涯学習課からの情報発信に基づく新聞等への掲載数						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	14件	14件				20件	C
	実績		7件					
指標の見直し	-							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	生涯学習課の事業や取り組みについて、地元情報誌に8回掲載された。また、年度末までに町Facebookに34件投稿した。	
	今後の課題	積極的な情報発信に継続して取り組む必要がある。	
	改善点 及び今後の 方向性	記者発表なども活用しながら、積極的な情報発信に継続して取り組む。	
	総合評価	C	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

○二宮町教育委員会点検及び評価実施規則

平成 26 年 7 月 25 日教育委員会規則第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、二宮町教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施することに関し必要な事項を定める。

(点検及び評価の実施)

第 2 条 点検及び評価は、実施年度の前年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、行うものとする。

(点検及び評価の対象)

第 3 条 点検及び評価の対象は、教育委員会の活動及び二宮町教育委員会基本方針等に基づいて教育委員会が実施する施策等とする。

(評価委員)

第 4 条 教育委員会は、点検及び評価を透明性及び客観性を持った適正なものとするため、二宮町教育委員会評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

2 評価委員は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 評価委員は 2 名とし、教育に関して公正な意見を述べる事が期待できる者の中から、教育委員会が委嘱するものとする。

(評価委員の任期)

第 5 条 評価委員の任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 評価委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(点検及び評価の手順)

第 6 条 点検及び評価を実施するにあたっては、教育委員会各課がその所管する第 3 条に掲げる事項について行うものとする。

2 教育委員会は、前項の点検を基に、評価委員の意見を聴いたうえで、教育委員会議に諮るものとする。

3 教育委員会は、評価委員の意見も含めた二宮町教育委員会点検及び評価報告書を別に定める要領により作成し、二宮町及び二宮町議会へ提出するとともに、町民に公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第 7 条 点検及び評価の結果は、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用するものとする。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成27年3月27日教委規則第8号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

二宮町教育委員会点検及び評価実施要領

公表 平成 26 年 8 月 29 日

(趣旨)

第 1 条 この要領は、二宮町教育委員会点検及び評価実施規則（以下「実施規則」という。）に基づいて実施する二宮町教育委員会点検及び評価の具体的な方法について必要な事項を定める。

(評価事項)

第 2 条 評価事項は、次に掲げる項目とする。

- (1) 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況
- (2) 教育委員会が管理及び執行している事業並びに教育長に委任している事務のうち、重点施策及び主たる取り組み
- (3) その他、教育委員会が特に記載するもの

(評価の観点)

第 3 条 評価の観点は、教育委員会の行う活動として適正か、目標とする効果が得られているか、コスト意識を持って取り組んでいるかを主たる観点とし、総合的に評価する。

(評価の基準)

第 4 条 点検評価においては、評価の観点を元に、評価対象について、次の区分により評価する。

評価	評価基準
A	目標とする成果が得られた。 または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B	おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C	取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D	取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

(報告書の作成要領)

第 5 条 実施規則第 6 条第 3 項に基づき作成する二宮町教育委員会点検及び評価報告書（以下「点検及び評価報告書」という。）は、教育委員会の活動状況点検評価シート（別紙 1）及び教育委員会事務局の活動状況点検評価シート（別紙 2）により作成するとともに、次に掲げる項目について掲載するものとする。

- (1) 点検評価対象年度の教育委員会基本方針
 - (2) 点検評価対象年度末時点の教育委員の一覧
 - (3) 第2条で定める評価事項に関する項目
 - (4) 評価委員からの点検及び評価意見
- (公表)

第6条 点検評価の町民への公表については、点検及び評価報告書を公告するとともに町ホームページに掲載することにより行う。

(その他)

第7条 この要領の実施にあたり、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

令和5年度
二宮町教育委員会
点検及び評価報告書
(令和4年度事業分)



令和5年9月
二宮町教育委員会

目次

はじめに	1
令和4年度二宮町教育委員会基本方針	2
教育委員会について	14
第1章 教育委員会の活動状況について	15
1 教育委員会議の運営状況	
2 学校訪問	
3 研修会	
4 その他の活動状況	
5 教育委員会議の公開	
6 教育委員会の活動状況、点検評価	
第2章 教育委員会における主要事業	26
1 教育総務課の主要事業	
2 生涯学習課の主要事業	
3 主な事業の活動状況 点検評価	
第3章 外部評価（意見）	45
参考資料	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
二宮町教育委員会点検及び評価実施規則	
二宮町教育委員会点検及び評価実施要領	

はじめに

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会において毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定、「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」及び、「二宮町教育委員会点検及び評価実施要領」に基づき作成されたものです。

1 点検及び評価の趣旨

- (1) 教育委員会が管理及び執行する事業の取り組み状況について、点検及び評価を実施することにより、より効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。
- (2) 毎年、点検及び評価を実施することで、変化する社会経済情勢に明確に対応するとともに、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用します。
- (3) 報告書を議会へ提出し、町民へ公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民との信頼関係を保ちます。

2 点検及び評価の対象事業

令和 4 年度の事業を対象とし、大きく次の 2 区分とします。

- (1) 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況を「教育委員会の活動状況」とします。
- (2) 教育委員会が管理及び執行している事務事業並びに教育長に委任している事務のうち重点施策及び主たる取り組みを「教育委員会における主要事業」とします。

3 点検及び評価の方法

- (1) 教育委員会による点検及び評価
対象となる事業の取り組み状況、成果、今後の改善点等をまとめます。
- (2) 外部による点検及び評価についての意見
外部から見た検証・意見等を報告書の内容全般についてまとめます。

4 点検及び評価結果の公表等

点検評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を二宮町議会に提出するとともに、報告書を町民へ公表します。

教育委員会について

二宮町教育委員会は、教育長及び4名の教育委員で構成され、教育委員会議において教育に関する規則の制定や重要な事項を審議決定しています。

二宮町教育委員会（令和5年3月31日現在）

職名	委員名	任期
教育長	もり 森 英夫	平成30年12月26日～令和3年3月31日 令和3年4月1日～令和6年3月31日（再任）
教育長 職務代理者	のや 野谷 悦	令和元年10月1日～令和5年9月30日
委員	おか の 岡野 としひこ 敏彦	平成28年10月1日～令和2年9月30日 令和2年10月1日～令和6年9月30日（再任）
委員	ふじわら 藤原 なおひこ 直彦	令和3年12月23日～令和7年12月22日
委員	すぎもと 杉本 かおり	令和4年10月1日～令和8年9月30日

第1章 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会議の運営状況（令和4年度）

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備 考
令和4年 4月28日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮町小中一貫教育推進計画について ・学校運営協議会委員の委嘱について ・青少年指導員の委嘱について ・地域学校協働活動推進員の委嘱について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度二宮町一般会計補正予算（第1号）について【非公開】 ・二宮町英語検定奨励金交付要綱の一部を改正する要綱について <p><事務報告等に対する主な意見・提案事項></p> <p>県立高校の再編や学習指導要領の変更は、小中一貫教育にも繋がる内容です。それをくみ取って考えていく必要があります。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p><傍聴3名></p> <p>（主な回答要旨・抜粋）</p> <p>分離型の準備委員会は校長会を中心に議論していきます。一体型の研究会は学校関係者、地域の方、保護者の方を入れて議論していきます。定例会の中で、それぞれの会の議論内容をまとめます。</p>
令和4年 5月26日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度二宮町立小・中学校で使用する教科用図書の採択方針（案）について ・令和4年度一般会計補正予算（第2号補正）について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校学級編制及び児童生徒数について ・二宮町施設一体型小中一貫教育校設置研究会設置要綱について <p><事務報告等に対する主な意見・提案事項></p> <p>I C Tによる検索は自分の好きなものしか出ないということを聞きます。図書室での調べ方も話してもらい、先生によって対応が異なることのないようにしていただきたいと思います。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p><傍聴4名></p> <p>（主な回答要旨・抜粋）</p> <p>一体型の研究会では、教育内容だけではなく、地域の実情も議論できる場になるようにしていきます。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度教育委員会議日程について ・令和4年度学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査について【非公開】 <p><事務報告等に対する主な意見・提案事項> やまびこでは、どういう対応をしているのか、子どもがどう反応したかなどは大事な内容で、保護者を始め、多くの皆さんに知ってもらい、理解者を増やすことは大事なことです。</p>		
令和5年 3月28日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮町学校運営協議会委員の委嘱について ・教育委員会事務局職員等人事について【非公開】 ・令和5年度にのみや学園の学園長及び副学園長の指名について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付式について【非公開】 <p><事務報告等に対する主な意見・提案事項></p>	<p>原案可決 原案可決 原案可決</p>	<傍聴0名>

2 学校訪問

<訪問内容>

- ① 授業参観
- ② 「教育方針」「学校教育推進に伴う課題（施設の維持・危機管理・サービスなど）」について説明
- ③ 具体的な教育活動（児童生徒指導の実情と問題点）や学校研究の特色などについての説明
- ④ 質疑応答

<学校訪問の状況>

訪問日	場 所
令和4年6月24日	町立二宮小学校
令和4年9月30日	町立山西小学校
令和4年10月28日	町立二宮西中学校
令和4年11月9日	町立二宮中学校
令和4年11月24日	町立一色小学校

3 研修会

研修等	開催日	開催方法・場所
神奈川県市町村教育委員会連合会第1回役員会及び総会	令和4年4月14日	オンライン
関東甲信越静中村教育委員会連合会総会及び研修会	令和4年5月28日	書面開催
市町村教育委員教育長・教育委員研究協議会(第1回)	令和4年7月28日	オンライン
市町村教育委員教育長・教育委員研究協議会(第2回)	令和4年9月8日	オンライン
市町村教育委員会研究協議会(第1ブロック)	令和4年11月10日	昌賢学園まえばしホール
神奈川県市町村教育委員会連合会 研修会	令和4年11月18日	茅ヶ崎市民文化会館

4 その他の活動状況

①町の各種委員会委員への選任状況

委員会の名称	委員名
都市計画審議会	野谷 悦
学校給食センター運営委員会	藤原 直彦
二宮育英会	野谷 悦
二宮町総合計画審議会	岡野 敏彦
公共施設再配置・町有地有効活用検討委員会	藤原 直彦

②小・中学校や教育委員会関係行事への参加状況

開催日	行事名
令和4年4月1日	教職員等辞令交付式
5月26日	第1回総合教育会議
8月26日	第2回総合教育会議
令和5年1月5日	教育委員会表彰式
1月27日	第3回総合教育会議
3月31日	教職員等転退職者辞令交付式

5 教育委員会議の公開

二宮町教育委員会議規則第15条に基づき、会議は教育長の許可を得て傍聴することができるとしている。

令和4年度は、22名の傍聴人があった。

6 教育委員会の活動状況 点検評価

※「別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート」に記載（次ページ以降）

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度（令和3年度） 実績・状況	当年度（令和4年度） 実績・達成状況
教育委員会議の実施状況	1 開催回数 12回 (定例会 12回) 2 議案件数 38件 3 請願件数 0件 4 傍聴 23名	1 開催回数 13回 (定例会 12回) (臨時会 1回) 2 議案件数 40件 3 請願件数 0件 4 傍聴 22名
成果・課題	評価・所見	
<p>【成果】 令和4年度二宮町教育委員会基本方針を念頭に置き、議案40件を審議した。定例会においては教育長報告、各所管課からの実績報告や事業予定により、事業の進捗状況と現状の課題を共有した。教育的課題、生涯学習課題、行政課題など多岐にわたって現状の課題を共有するとともに、その施策について議論した。資料を事前に送付し、議題等の内容の把握や意見集約をするなど、効率的・効果的な審議や協議等に努めた。また、音声機材の精度の向上を図るとともに、議事録作成支援システム等を活用し、議事録作成の迅速化をはかった。</p> <p>【課題】 開かれた会議運営という点で、教育委員会の定例会議事録と会議資料をホームページに掲載して、町民への共有化を推進した。議事録作成支援システムを活用し、迅速な議事録作成の事務作業効率化を目指していく。</p> <p>二宮町の教育全般について、未来を担う子どもたちのために、町民の意思を的確に反映しつつ、執行機関としての役割を果たしていく。</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：A)</p> <p>教育委員会議定例会においては、学力向上、ICT利活用などの授業力向上、不登校、支援級運営などの教育支援力向上、部活動外部移行、超過勤務などの多忙化解消など、課題の現状を共有化し、その解消策を議論した。現状課題の共有とその対応は着実に講じることができたため評価はAとした。</p> <p>引き続き、教育委員会制度、法の趣旨に則り、適切に教育行政を運用するとともに、二宮町の教育界を次代へと導く役割を果たしていく。</p>	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度(令和3年度) 実績・状況		当年度(令和4年度) 実績・達成状況	
<p>重点施策</p> <p>1 児童・生徒の「生きる力」の育成 (1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進</p> <p>①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進</p> <p>②英語教育を通じたコミュニケーション能力の育成</p> <p>③ICT環境を活用した学びの充実</p> <p>④道徳教育ならびに特別活動の充実</p> <p>⑤学校体育の充実</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p>【行政評価の成果指標】</p> <p>①なし</p> <p>②中学校卒業時における英検3級の取得率</p> <p>③週1回以上授業でICTを使用したか</p> <p>【目指すべき目標】</p> <p>①全国学状:話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合、小学校75%、中学校75%</p> <p>⇒結果:小学校78% 中学校81%</p> <p>②英検3級取得率50%</p> <p>⇒結果:42.6%</p> <p>③ICT利用率100%</p> <p>⇒結果:小学校23%中学校68%</p> <p>(令和3年5月27日時点)</p> <p>【実績・達成状況】</p> <p>①令和3年度は全ての小中学校が6つの手立てを用いた話し合い活動を中心とした授業づくりに取り組んだ。小中学校ともに昨年度よりも数値が向上した。</p> <p>②英検3級の取得率が昨年度よりも向上したが、目標値までは達成できていない。</p> <p>③GIGAスクール構想に基づく児童生徒1人1台の環境が整い、できるところからではあるが、授業等で活用ができた。情報教育担当者会でICT機器の活用の好事例や課題について共有した。</p>		<p>【行政評価の成果指標】</p> <p>①なし</p> <p>②中学校卒業時における英検3級の取得率</p> <p>③週1回以上授業でICTを使用したか</p> <p>【目指すべき目標】</p> <p>①全国学状:話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合、小学校75%、中学校75%</p> <p>⇒結果:小学校80.5% 中学校87.1%</p> <p>②卒業時の英検3級の取得率50%</p> <p>⇒結果:18.1%</p> <p>③ICT利用率100%</p> <p>⇒結果:小学校89.7%中学校96.4%</p> <p>(全国学力学習状況調査より)</p> <p>【実績・達成状況】</p> <p>①令和3年度から引き続き全ての小中学校が6つの手立てを用いた話し合い活動を中心とした授業づくりに取り組んだ。手立ても定着してきており小中学校ともに昨年度よりも数値が向上した。</p> <p>②英検3級の取得率が昨年度よりも低下し、目標値までは達成できていない。</p> <p>③GIGAスクール構想に基づく児童生徒1人1台の環境が整い、授業等で活用ができた。情報教育担当者会でICT機器の活用の好事例や課題について共有した。</p>	
	現計予算額(円)	決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
	66,267,000	66,145,294	66,750,000	66,203,853

成果・課題	評価・所見
<p>【成果】</p> <p>①全小中学校が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした学び合い・話し合いの授業づくりに取り組んだ。小学校から継続して取り組むことで中学校でもその効果が見られるようになってきた。</p> <p>②英語検定3級の受検料については高額ではあるが、二宮町英語検定奨励金の制度を活用することで、生徒が3級の取得に向けての後押しとなった。</p> <p>③児童生徒1人1台の環境が整い、小中ともに授業におけるICTを積極的に活用してきた。また、様々な理由により自宅で過ごす子どもたちがICTを活用して授業に参加できるよう環境を整えることができた。</p> <p>④ICT利活用を推進する中で道徳との連携の観点から5校共通の情報モラル教材を新規に導入し、学校だけでなく、自宅でも取り組むことができるようにした。</p> <p>⑤高学年の児童が苦手意識を感じていた器械体操をテーマに小中学校の先生が協働で授業研究に取り組み、楽しさや達成感を体感できる授業を推進できた。</p> <p>【課題】</p> <p>①引き続きすべての教職員が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした誰一人取り残されない全員参加の授業づくりに共通性と一貫性をもって取り組んでいく必要がある。特に、習得の授業においても研究を進めていく必要がある。</p> <p>②英検3級以上の取得率が前年度比で24.5%低下した。コロナウイルスへの感染症予防のため、話す活動が制限されたことなど英語を学ぶことの楽しさを実感する機会が減った。そのため、英語を学ぶ意欲が低下したと考えられ、今後は、英語を学ぶことの楽しさを実感できる授業を展開していきたい。</p> <p>③育てたい資質・能力や授業のねらいを踏まえたICTの活用についてこれまで以上に意識していく必要がある。そのためには、育てたい資質・能力（情報活用能力）を明らかにし、系統性のある情報活用能力（情報モラル含む）の指導について研究を進めていく必要がある。また、ハード面として、端末の整備更新による予算や安定的な運用を行うための人材確保なども併せて検討する必要がある。</p> <p>④体力向上と水難に対する自己防衛の視点が必要である。</p>	<p>B</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：B)</p> <p>①全小中学校が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした学び合い・話し合いの授業に取り組んだ。引き続き、全員参加の授業の意義と手法について学び、手応えを感じる実践を着実に積み重ねていきたい。また、小学校で形成された話し合い活動を、中学校でよりよいものにしていきたい。</p> <p>②英語教育研修会等を通じて、ALT、担任、専科それぞれがもつ強みを生かしながら、指導力向上に努めると共に、子どもたちが話したくなる、聞きたくなる外国語の授業づくりに継続して取り組んでいく。また、英語検定奨励金制度を活用した受検の促しを引き続き行っていく。</p> <p>③GIGAスクール構想の実現に向けて、ICTを活用した授業実践を積み重ねていくとともに、情報活用能力（情報モラル含む）の育成に向けた系統的な指導の在り方について研究していきたい。</p> <p>学校現場と教育委員会が一体となった取り組みにより、それぞれの成果指標が向上しているが、目標値に対して充分とは言えないことや改善の余地があるので評価Bとした。</p>

第3章 外部評価(意見)

評価委員： 吉田 賢治

評価(意見)内容

第1章 教育委員会の活動状況について

「教育委員会議の実施状況」では定例会12回 臨時会1回、議案件数40件が審議され、すべての議案が可決されました。原案作成者の周到な準備が伺えます。また「学校訪問等の活動」では、二宮町内の交流にとどまらず他の市町村との研修会を実施し、積極的に教育環境の向上に取り組んでおり、どちらもA評価は妥当と思います。

第2章 教育委員会における主要事業について

●学校教育の重点施策

1 児童・生徒の「生きる力」の育成

(1) 自ら学ぶ力を養うための教育の推進

④道徳教育ならびに特別活動の充実、⑤学校体育の充実については、コロナの影響を強く受けた児童生徒であるため、人間関係の構築がやや苦手だと思います。「生きる力」の育成に向けて創意工夫が必要だと思います。

2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備

(2) 教職員の働き方改革の推進

①働く場としての環境整備については、勤務実態の把握や勤務時間の改善に努め、工夫していますが目標達成には至っていません。部活動の時間外勤務による過重負担のみならず、教職員の中途退職者や休職者の増加、教職希望者の減少など「生きがい・やりがい」のある職場環境の構築に向けた工夫改善が重要だと思います。

②部活動改革に向けた方向性の整理については、部活動は教師の献身的な勤務に支えられてきたと言えます。働き方改革により部活動の時間外勤務は軽減されたとはいえ十分とは言えません。今後の改善が望まれます。一方では「運動部活動の地域の移行の推進」により、生徒、保護者へ十分な説明が無いまま学校部活動から地域部活動に、地域の受け皿が不十分な中で移行出来るのか不安を感じます。生徒の活動場面や活動機会が奪われないよう、また、教師が混乱しないように全国のモデルケース検証しつつ地域の実態に即した柔軟な移行を目指して頂きたいと思います。

3 将来的に向けて特色ある学校作りのための検討

(2) コミュニティ・スクール運営の促進

②地域との連携による児童生徒の活動の促進について総合的な学習の時間を活用して、地域との積極的な関わりが伺えます。地域との連携を増々深めて頂きたいと思います。

第33回 ガラスのうさぎ像 平和と友情のつどい

二宮駅南口に建つ「ガラスのうさぎ像」は、町の平和と友情のシンボルであり、平和への関心を高め、二度と戦争を繰り返してはならないという願いが込められています。

この思いを後世に伝えることを願い、平和と友情のつどいを開催いたします。ぜひご参加下さい。

- ◇ 日 時 令和6年8月6日（火）午後1時～午後2時10分
 - ◇ 会 場 ラディアン（生涯学習センター）ホール
- ※入場は無料です。

☆展示ギャラリーでは、8月3日（土）から6日（火）（各日午前10時から午後4時）まで、戦争と平和に関する展示を実施しています。

展示団体：にのみや平和をつたえる会、二宮町遺族会

《小学生による感想文の展示》

町内小学校6年生が平和学習の一環として「ガラスのうさぎ」のアニメーションを鑑賞しました。

この期間においては、子どもたちの感想文を展示しています。

☆図書館2階展示ケースでは、7月2日（火）から9月23日（月・祝）まで【二宮ゆかりの人物展示「8月5日 戦争の爪痕と高木敏子をめぐる人々」】と題した、二宮町の空襲の被害写真と、高木敏子さんに関わりのあった人々の資料を展示しています。

- ◇ 内 容
- ① 碑文朗読・・・・・・・・二宮西中学校生徒
碑文英訳文朗読・・・・二宮高校生徒
- ② アニメーション映画
「いわたくんちのおばあちゃん～ぼく、戦争せんけえね～」

- ◇ 定 員 500名
- ◇ その他 手話通訳あり
- ◇ 共 催 二 宮 町・二宮町教育委員会
ガラスのうさぎ像平和と友情推進委員会
- ◇ 後 援 神 奈 川 県（予定）

（問合せ先）二宮町総務部総務課

0463-71-3315（総務課直通）

令和6年7月教育委員会議定例会予定

- 1 日 時 令和6年7月26日（金）9時30分から
- 2 場 所 町民センター 2Aクラブ室
- 3 請 願
（1）二宮西中学校における自転車通学の実施について、アンケート調査を求める
請願
- 4 付議事項
（1）令和6年度小学校使用教科用図書採択について
（2）令和6年度中学校使用教科用図書採択について
- 5 報告・協議事項

※主な行事

7月26日（金）	9時30分	7月教育委員会議定例会
8月29日（木）	9時30分	8月教育委員会議定例会
	13時30分	総合教育会議

